

さいかい

広報 

2012
NO.084

4

 西海市

つながる ひろがる 未来へつづく 健康の里さいかい

今月の内容

平成24年度予算	2
施政方針	6
小学生親善交流団北海道広尾町訪問記	12
まちの話題	20
ほけんとふくし	24
くらしの情報	26
新コーナー「西海市の魅力 自然・食・歴史」	36
イベントインフォメーション	38

みんな一緒に楽しく歩いた/ さいかいシティウォーク



平成24年度当初予算が決定!!

汚泥再生処理センター整備事業などにより8.2%減

福祉やまちづくり、環境、教育、経済など、私たちの暮らしにかかわりの深い一般会計予算は、人件費、公債費等義務的経費の減や汚泥再生処理センター、防災行政無線デジタル化などの大型事業予算措置終了などを要因として、前年度当初予算に比べ8.2%減の総額191億5,800万円となりました。

市政運営のテーマは昨年度に引き続き「地域再生」を掲げ、全事業の見直しを行いムダを省いて財源を確保しつつ、「市長特別枠」を設けて主要施策に重点的に配分しています。

主な事業は、『横瀬浦開港450周年記念事業』を中心とした各種イベントの開催による市民力を活かすまちづくり事業や、『西海山イニシアティブ推進事業』を初め『炭鉱遺構等調査事業』など、西海市の最大の魅力である【自然・食・歴史文化】を活かした取り組みを進めていきます。また、市民生活に直結する『ごみ処理施設整備事業』や『イノシシ等有害鳥獣被害対策事業』などによる住みよいまちづくりを進める事業などメリハリのある予算編成となっています。

一般会計 **191億5,800万円**
(対前年度比 8.2%減)

特別会計 **110億4,928万円6千円**
(対前年度比 5.5%増)

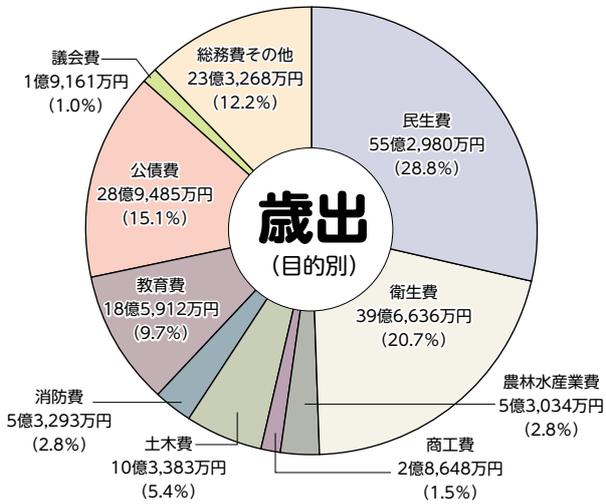
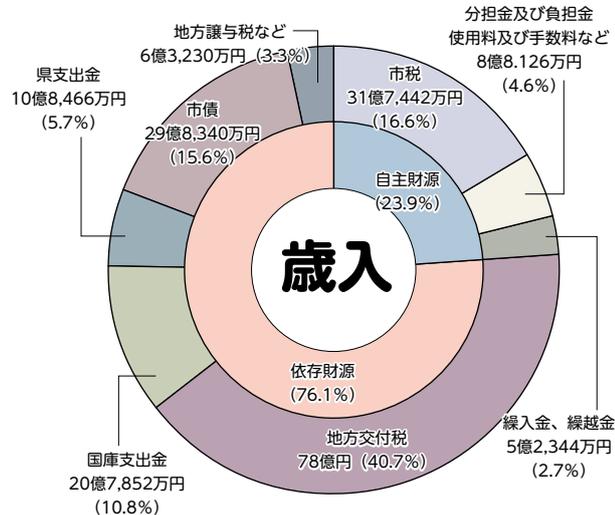
公営企業会計 ……**4億6,460万7千円**
(対前年度比 6.5%減)

市全体 ……**306億7,189万3千円**
(対前年度比 3.7%減)



一般会計における歳入と歳出の構成比 (総額191億5,800万円)

一般会計は、市税をはじめ、国・県からの補助金や交付金、市債などを財源として、福祉や教育、道路整備などの基本的な施策を行う会計のこと。



自主財源		依存財源	
市が自主的に得ることができる収入で、市税、使用料及び手数料、諸収入など		地方交付税や国・県支出金など、国や県から入ってくるお金や、市の借金である市債など	
市税	個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税など、市へ納付される税金	地方交付税	国税の中から、全国の自治体が同水準の事務が行えるよう、一定の基準により交付されるお金
線入金	特別会計や基金などから一般会計に入れるお金	市債	建物建設や道路整備など多額の費用がかかる場合に、国や銀行などから長期的に借りるお金
線越金	前年度から繰り越されるお金	国・県支出金	国や県から使用目的を特定して交付されるお金
使用料及び手数料	施設の利用や役務の提供を受けた人から徴収するお金	地方譲与税	国が徴収した税金から一定の基準に従い譲与されるお金
分担金及び負担金	特定の事業の実施により利益を受けた人(団体)から徴収するお金		

市政運営のテーマ「地域再生」

<p>民生費</p>  <p>高齢者、障害者、児童の福祉推進などに 約17万8千円</p>	<p>衛生費</p>  <p>病気の予防やごみ処理などに 約12万7千円</p>	<p>公債費</p>  <p>借りたお金の返済に 約9万3千円</p>	<p>総務費 その他</p>  <p>総務費 労働費などに 約7万5千円</p>
<p>教育費</p>  <p>学校の管理や文化スポーツ振興などに 約6万円</p>	<p>市民一人当たりに使われる予算 (一般会計) 約61万5千円</p> <p>※当初予算額を平成24年1月末日時点の人口31,141人で市民一人当たりの金額に換算しています。</p>		<p>土木費</p>  <p>道路、公営住宅、公園の整備などに 約3万3千円</p>
<p>消防費</p>  <p>消防施設の整備や消防団の運営などに 約1万7千円</p>	<p>農林 水産業費</p>  <p>農業、林業、水産業の振興などに 約1万7千円</p>	<p>商工費</p>  <p>商工業や観光振興などに 約9千円</p>	<p>議会費</p>  <p>市議会の運営などに 約6千円</p>

【一般会計歳出性質別増減内訳】

性質名称	平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	増減額	伸び率	説明
人件費	3,248,234	3,543,501	-295,267	-8.3%	議員報酬、各種委員報酬、特別職給与、職員給など。
扶助費	3,203,492	3,271,513	-68,021	-2.1%	社会保障制度の一環として法令（生活保護法、児童福祉法、老人福祉法等）に基づき支出される経費及び市単独で行っている各種扶助の経費。
普通建設事業費	3,112,682	3,997,909	-885,227	-22.1%	道路、橋りょう、学校、庁舎等公共用又は公用施設の新増設などの建設事業に要する経費。
繰出金	3,000,589	2,790,104	210,485	7.5%	一般会計と特別会計または特別会計相互間において支出される経費など。
公債費	2,894,856	3,315,328	-420,472	-12.7%	市が金融機関等から借り入れた市債（借金）の元利償還金など。
物件費	2,352,517	2,433,336	-80,819	-3.3%	賃金、旅費、交際費、需用費、役務費、備品購入費、報償費、委託料、使用料及び賃借料、原材料費等。ただし、維持補修費及び災害復旧事業費に含まれるものを除く。
補助費等	1,128,101	1,206,632	-78,531	-6.5%	各種団体等に対する負担金、補助及び交付金、寄付金など。
その他	217,529	309,177	-91,648	-29.6%	維持補修費、貸付金、積立金、災害復旧費、予備費
合計	19,158,000	20,867,500	-1,709,500	-8.2%	

特別会計	会計名	予算額
国民健康保険や介護保険など、特定の事業を行う場合、それぞれ特定の収入で運営していく独立した会計のこと。	国民健康保険(事業勘定)	46億1,408万円
	国民健康保険(直診勘定)	2億7,294万円
	後期高齢者医療	3億4,063万円
	簡易水道事業	6億8,096万円
	下水道事業	15億8,724万円
	工業団地整備事業	7,764万円
	交通船事業	1億2,668万円
	介護保険(保険事業勘定)	33億2,154万円
	介護保険(サービス事業勘定)	2,756万円

企業会計	会計名	予算額	
事業から得る収益を主な財源として運営していく地方公営企業法の適用を受けた会計のこと。	水道事業	事業収益	2億1,004万円
		事業費用	2億910万円
		資本的収入	8,525万円
		資本的支出	1億7,287万円
工業用水道事業	工業用水道事業	事業収益	8,052万円
		事業費用	8,035万円
		資本的収入	1万円
		資本的支出	229万円

平成22年度決算に基づく連結財務書類4表を公表します

●連結財務書類とは？

市の財政状況をより詳しく把握・分析するために、「総務省方式改訂モデル」に従って、平成22年度決算における市の全ての会計及び関係する一部事務組合や第三セクターなどを含めた連結財務書類4表（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）を作成しました。

この財務書類からは、行政サービスを提供するために使われる道路や建物などの資産、地方債など将来返済しなければならない負債、国や県からの補助金など返済を必要としない正味資産などの情報を知ることができます。

市では今後も財務書類を含めた様々な資料を活用して、引き続き行政改革を進め、健全財政を維持してまいります。

●貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は、市が資産をどれくらい保有しているか、資産を取得するために使われた資金のうち将来返済していかなければならない負債はどれくらいあるのか、また資産から負債を差し引いた純資産はどれくらいあるのかを示しています。

(平成23年3月31日現在)

資金の使い道		資金の調達先	
資産の部		負債の部	
※市が整備した施設や現金など行政サービスのための財産		※市の借金など将来にかけて負担する債務	
1 公共資産		1 固定負債	
(1)有形固定資産	1,203億6,847万円	(1)地方債	359億7,516万円
(2)無形固定資産	1,898万円	(2)退職手当引当金	52億9,491万円
(3)売却可能資産	17億645万円	(3)その他	27億121万円
2 投資等		2 流動負債	
(1)投資及び出資金	9億892万円	(1)翌年度償還予定地方債	34億5,750円
(2)貸付金	5億6,583万円	(2)その他	4億6,336万円
(3)基金等	73億1,851万円	負債合計 478億9,214万円	
3 流動資産		純資産の部	
(1)資金	64億3,919万円	※今までの負担（国・県の補助金や市税など）によって形成された財産	
(2)未収金等	1億5,531万円	純資産合計 895億8,952万円	
資産合計 1,374億8,166万円		負債及び純資産合計 1,374億8,166万円	

●行政コスト計算書

行政コスト計算書は、1年間の行政活動に要した費用と、この行政活動に充てられた特定の収入を示しています。

(平成22年4月1日～23年3月31日)

経常行政コスト 351億5,001万円	
※施設整備以外にかかる行政サービスのコスト	
1 人にかかるコスト	
(1)人件費	36億6,398万円
(2)賞与引当金繰入等	8億8,470万円
2 物にかかるコスト	
(1)物件費	31億9,523万円
(2)維持補修費	1億5,669万円
(3)減価償却費	48億4,698万円
3 給付にかかる(移転支的)コスト	
(1)社会保障給付	139億3,180万円
(2)補助金等	56億4,993万円
4 その他のコスト	
(1)公債費(利払)等	28億2,070万円
経常収益 101億4,743万円	
※サービスの利用者が直接負担する使用料・手数料など	
純経常行政コスト 250億258万円	
※市税・地方交付税・補助金などによってまかなうコスト(経常行政コスト-経常収益)	

●資金収支計算書

(平成22年4月1日～23年3月31日)

1 経常的支出	256億5,055万円
経常的収入	321億1,706万円
経常的収支	64億6,651万円
2 公共資産整備支出	64億7,452万円
公共資産整備収入	47億8,611万円
公共試算整備収支	△16億8,841万円
3 投資・財務的支出	78億1,155万円
投資・財務的収入	33億6,227万円
投資・財務的収支	△44億4,928万円
当期収支	3億2,882万円
期首資金残高	61億1,037万円
期末資金残高	64億3,919万円

資金収支計算書は、行政活動を資金の流れから3つの活動に分けて見たもので、1年間の資金の増減を示しています。

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の増減内訳を示すものです。

また、純資産は今までの負担によって形成された財産であり、増加することは将来の行政サービスの提供能力が増えるということを表しています。

●純資産変動計算書

(平成22年4月1日～23年3月31日)

期首純資産残高	895億5,831万円
純経常行政コスト	△250億258万円
財源調達	
地方税	42億3,682万円
地方交付税	92億7,404万円
補助金等受入	94億4,670万円
臨時損益	△4,119万円
その他	20億1,939万円
資産評価替・無償受入	9,803万円
期末純資産残高	895億8,952万円

集中改革プラン

中間実績報告

～約1億5千万円の財政効果と12名の職員削減を実現～

市では、平成22年度から平成26年度までの5年間にわたる新たな行政手法の創出や行政組織の見直し、事務事業の改善など、行財政運営の改革に向けた取り組み方を定めた「第2次西海市行政改革大綱」を平成22年3月に決定。その実施計画として平成23年3月に「西海市行財政集中改革プラン」を作りました。今回、平成22年度における行政改革の取り組み状況を検査し、これからの取り組みに生かすため、実績を取りまとめましたので、公表するものです。

取りまとめの結果、効果額は、目標を上回り1億4,595万4千円で、職員削減数は、目標と同じ12名でした。効果額が目標を上回ったのは、大崎やすらぎ荘の民間移譲による効果が、予想よりも1年前倒しで現れたためです。

中間実績報告は市のホームページからダウンロードできるほか、総務部総務課の窓口でも閲覧できます。

集中改革プランにおける経費削減等の財政効果額（平成22年度）

項目	効果額		職員削減数	
	目標額	実績額	目標数	実績数
(1) 事務事業の見直し	10,776千円	62,873千円	1名	1名
(2) 組織機構の再編	0千円	0千円	0名	0名
(3) 人事管理の適正化	26,165千円	26,189千円	8名	8名
(4) 財政運営の健全化	30,465千円	50,407千円	0名	0名
(5) 公営企業の健全化	9,667千円	6,485千円	3名	3名
合計	77,073千円	145,954千円	12名	12名

問い合わせ先：総務部総務課（☎37-0061）
soumu@city.saikai.lg.jp

施政方針と主な事業

平成24年度は、前年度に引き続き「地域再生」を市政の一大テーマとし、8年目となる市政の執行に全力を傾注し、健全な財政と効率性の高い行政の実現に取り組みます。



行財政改革の推進について

昨年4月の市民病院等の民間移譲は、社会福祉法人福医会の協力により、「福医会さいかい病院」、「特別養護老人ホームさいかい」及び「養護老人ホームさいかい」としてスタートし、3月12日からは新施設での事業が開始されました。

組織機構の見直しについては、横瀬浦開港450周年記念事業などの施策を万全の体制を持って推し進めるため、既存の組織を超えて総合的に取り組む担当の理事を配置するとともに、契約工事の監理及び検査の一層の適正化を図る必要があるため、技術監理担当理事を置くことにしています。

平成24年度の主要施設及び事業について

主な施策及び事業については「地域再生」をメインテーマとし、西海市の「自然」「食」「歴史・文化」という地域資源を活かした個性あるまちづくりに取り組み、西海市の復活、再生に繋げようというものです。

特に今年度は、横瀬浦開港450周年記念事業を展開。「YOKOSEE450」と銘打ち、各種イベントを開催します。本年度は、西海市総合計画の後期基本計画の実施初年度となります。進捗状況や成果を検証し、社会環境や市民ニーズの変化などを踏まえつつ、市民生活の改善と市民満足度の向上を最優先に「健康の里さいかい」の実現に向けて、効果的かつ効果的な施策を実施します。

1、暮らしと地域資源を活かした住みよくなる里づくり

A、地球温暖化対策と循環型社会の形成について

昨年度選定された「長崎県環境実践モデル都市」の取り組みの一つとして、再生可能エネルギーの普及・推進を進めます。

公共施設に太陽光発電等の自然エネルギーを利用した環境配慮型設備を設置し、省エネ効果の高いLED照明等への改修を行います。

個人住宅に太陽光発電システムを設置する際の本市の補助制度新設をPRし、利用の促進に繋がります。

I、住環境の整備について(住宅、道路、上水道、汚水処理、公共交通)

公営住宅等長寿命化計画に沿って、建替えや既存住宅の修繕などを実施し、安全で快適な生活基盤の整備に取り組んで参ります。

土木事業については、平成25年度の「全九州高等学校体育大会」、平成26年度の「第69回国民体育大会」開催向け道路改良や急傾斜地崩壊対策事業を実施します。

上水道事業は、大島町で塩田

減圧弁築造、送・配水管布設替等の施設更新、大瀬戸町で、下水道の整備に伴う榎浦地区配水管布設替事業、国道202号バイパス工事に伴う配水管布設替事業を実施する予定です。

下水道事業においては、瀬戸処理区及び大串処理区の区域拡大を進め、農業集落排水施設、漁業集落排水施設、地域し尿処理施設の老朽設備の更新や補修工事を実施します。

ウ、安全な暮らしの確保について

西海町横瀬貯油所に建設が進められております米海軍工アカツション型揚陸艇(LCAC)施設が、消防施設の一部を除き、まもなく完成します。施設の運用に関する協定締結に向けて九州防衛局や米海軍等と十分協議し、周辺地域住民をはじめとする市民の皆様方の安心、安全の確保に努めます。

2、働くくらしでも働ける元気な産業が息づく里づくり

A、新たな雇用機会の創出について

西海市産のヒノキ材は、真円、目詰まり材で色艶が良く、市場では高い評価を受けており、ブランド化を視野に入れた事業を進めます。

水産業につきましては、魚

価の低迷など多くの課題を抱えています。もうかる水産業を目指し市内の特色ある水産物のブランド化と販売促進、新たな加工品の開発等に対して支援を行います。

商工関係については、市内産業の活性化を図るべく「新事業起業家コラボ支援事業」を本年度も取り組み、実現に向けていきます。

観光振興につきましては、「食」をテーマに更なる交流人口の拡大と経済的波及効果を図って参ります。

「さいかい井フェア」「西海大鍋まつり」の知名度を上げ、特産品などのPRに繋がります。

また、「食のまち西海情報発信」とおもてなし事業により、オランダ村を情報発信の拠点として、直売所などと情報を共有して効率性の高い案内・情報発信を行っていきます。

「歴史」につきましては、「横瀬浦開港450周年記念事業」を目玉に実施いたします。「さるくまち西海事業」を実施し、マップ作成や案内板、休憩スペース等の整備を行います。

平成22年度から開始した、「さいかいGenkiラジオ」は、引き続き西海市の観光に関するあらゆる情報を発信して参ります。

3、学ぶ〜生きがいと未来を創造する教育の里づくり

ア、教育環境について

小中学校適正配置につきましては、4月1日に西海北中学校と西海南中学校を統合した西海中学校が開校いたしました。

大島・崎戸地区の中学校及び大瀬戸地区の小学校につきましては、「学校適正配置実施計画」を策定し、保護者並びに地域住民の皆様の声を広く聞きながら、新しい小学校及び中学校の開校に向けて取り組んでいきます。

イ、学校教育について

学校・家庭・地域の三者が「協働の精神」に基づき、子どもの個性や創造性を育む教育を推進します。

ウ、社会教育について

少子高齢化が進む中、核家族化も進行し、地域住民の連帯感が希薄化しています。

自治公民館活動の支援を図りながら、全市一貫した公立公民館組織の整備を図ります。

少子高齢化に伴う子育て支援については、PTA等と連携して、「家庭教育学級」を開催。保護者が家庭教育のあり方について学ぶ機会をつくるとともに、必要な情報の提供

し、保護者の支援に努めます。

図書館・図書室の運営につきましては、学校、図書館、図書ボランティアと連携しながら、読書環境の整備を図ります。

文化面におきましては、国指定天然記念物七釜鍾乳洞の学術調査が終了。平成24年度は保存管理計画を策定します。

このほか、市内に残る文化財や炭鉱遺構など歴史遺産について、年次計画により調査及び研究を行います。

また、伝統文化の保存・継承についても、年次計画により、映像・音声化し記録に残していきます。

エ、スポーツの振興について

平成20年度に策定したスポーツ振興基本計画に基づいた事業を展開し、幅広く市民の声を聞きながらスポーツ全般について推進を図ります。

スポーツ指導者の育成につきましては、スポーツ推進委員の更なる資質の向上を図るため、西海市体育協会との連携を図りながら、競技力向上と指導体制の構築に努めます。

施設面では、市内のスポーツ施設は全体的に老朽化が進んでいますので、計画的な改修や安全点検、老朽化の著しい施設の廃止や用途変更も視

野に入れ、効率的な運営に努めます。

平成26年度開催の長崎国体において、新体操競技の会場となっており、国体実行委員会へと組織を改め、国体機運の醸成に努め、会場の大瀬戸体育館アリーナ床の全面張替えを行います。

4、安心する〜安心して生み育て豊かに暮らせる里づくり

ア、保健事業について

保健事業につきましては、「健康さいかい21」を最終年度として見直しを行います。

「がん」対策として、国の行う女性特有のがん検診と大腸がん検診の無料クーポン券に加え、本市独自の40歳の胃がん検診無料化を引き続き実施し、がん検診受診率の向上を目指します。

また、自殺による死亡者が県下でも高い状態にあることから、若い世代からの自殺予防対策を図るため、講演会を開催し、自殺予防を推進します。

母子保健事業については、発達障害児への支援、妊娠出産に伴う健康問題への予防を柱に、妊婦健診、乳幼児健診等、母子及び乳幼児保健事業を実施していきます。

予防接種事業につきまして

は、「ヒブワクチン」と「小児肺炎球菌ワクチン」の接種と合わせて、中学1年生から高校1年生までの女子に対して、「子宮頸がんワクチン」の接種費用の助成を行います。

イ、福祉政策について

福祉政策につきましては「地域福祉計画」に基づき、市民との協働により地域福祉の推進に努めます。

児童母子福祉関係では、次代を担う子ども達が健やかに生まれ育つことができるよう、関係機関と連携し子育て支援体制の充実を図ります。

また、保護者が安心とゆとりを持つて子育てできるよう、「親育ち講座」の開催や「ママサポート事業」についても引き続き実施します。

障がい福祉関係では、「西海市障がい者等自立支援協議会」と連携し、自立した日常生活や社会生活を営むための支援環境づくりに努めます。

心身の発達や遅れに不安のある子どもに、児童発達支援事業（児童デイサービス事業）施設の市内設置に向けた事業に着手することとしています。

ウ、高齢者福祉介護保険事業等について

本年度は、「第5期介護保険事業計画」「老人福祉計画」の

実施初年度に当たり、「介護」、「介護予防」、「医療」、「住まい」並びに「多様な生活支援サービス」や「権利擁護」のための事業などを行い、一体的に提供していく「地域包括ケアシステム」の体制構築・実現に向けた取り組みを目指します。

エ、生活保護関係について

先行き不透明な経済情勢を背景に、やむを得ない事情により離職を余儀なくされた方々や、疾病などにより働くことが困難で生活に困窮された方々などに対して、最低生活保障としてのセーフティネット機能の円滑な運用を引き続き進めるとともに、就労支援や多重債務の解消等、自立に向けた各種支援策を講じて参ります。

オ、国民健康保険事業について

国民健康保険事業については、特定健診受診率アップのための大作戦を展開します。

国保直営診療所の運営につきましては、医療人材の確保や老朽化した設備の更新を行います。

また、後期高齢者医療については、円滑な制度の運営を図って参ります。

平成24年度 地区別ごみ収集カレンダーが配布されました

先月号の広報誌と一緒に、みなさんがお住まいの地区のごみカレンダーを配布いたしました。ごみの分別と出し方についても掲載していますので、参考にしてください。

また、ごみカレンダーは環境政策課および各総合支所においても配布しています。



家庭ごみのクリーンセンターへの直接搬入について

家庭ごみの収集は、各地区のごみステーション、及び拠点収集場所にて行っていますが、引越し等により、一度に大量にごみを排出する場合や、地区のごみ収集日にごみを出せない場合は、クリーンセンターに直接搬入することができます。

下記の事項を守り、ご利用ください。

●直接搬入ができる施設

- 西彼クリーンセンター（西彼町喰場郷 1428 番地 2）
- 西海クリーンセンター（西海町中浦北郷 1367 番地 21）
- 大島クリーンセンター（大島町 3384 番地）

●搬入できる日

月曜日～金曜日（祝日除く）

●時 間

午前 9 時～午後 4 時

●料 金

10kg あたり 40 円（10kg を超えるごとに 40 円加算されます。）

●搬入できるもの

可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ

※直接搬入する際は指定のごみ袋に入れる必要はありませんが、分別が必要です。

ごみ収集カレンダーを参考にしてください。

※危険物や家電 4 品目など、搬入できないものがあります。



西海クリーンセンター

詳しくは環境政策課へお問い合わせください。

西海市住宅用太陽光発電システム設置費補助金について

西海市では、地球温暖化の防止および新エネルギーの利用の促進を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する次の要件をすべて満たす方に対し、補助金を交付します。

1. 補助の対象者

- (1) 市内に存する住宅（店舗、事務所等と兼用しているものを含む）に対象システムを設置する者又は対象システムの設置された市内に存する住宅を取得する方。
- (2) 対象システムを設置する住宅に住所を有する者（実績報告書を提出する日までに住所を有することとなる者を含む）又は単身赴任等の事由により一時的に当該住宅に住所を有していない者であって、生計を一にする親族が当該住宅に住所を有する方。
- (3) 平成24年4月1日以降に国（太陽光発電普及拡大センター（J-PEC））が交付する住宅用太陽光発電導入支援対策補助金の申込受理決定通知を受けている方。
- (4) 対象システムを設置する住宅が自らの所有物でない場合にあっては当該住宅の所有者の、当該住宅が他の者との共有物である場合にあっては当該他の者の対象システムの設置に関する書面による承諾を受けている方。
- (5) 電力会社と電灯契約及び余剰電力受給契約を締結している方。
- (6) 市税を滞納していない方。
- (7) 市の補助金交付決定後に工事の着工ができる方。

2. 主な提出書類

- 西海市太陽光発電普及促進事業補助金交付申請書
- 対象システムの設置に係る費用の内訳が記載された工事請負契約書又は売買契約書の写し
- 国の補助金申込受理決定通知の写し
- 対象システムを設置する住宅が自らの所有物でない場合にあっては当該住宅の所有者の、当該住宅が他の者との共有物である場合にあっては当該他の者の設置に関する承諾書
- 市税納税証明書

3. 補助額 1件あたり6万円

4. 期 間 平成24年4月1日から 予算の額に達した場合は受付を終了します。

5. 申請方法 環境政策課へ申請書類を直接提出してください。

問い合わせ先 環境政策課 ☎37-0065

環境政策課では環境ニュースとしてごみ減量化や地球温暖化などの問題について情報提供・発信を行います。

買い物には
マイバッグを持参しよう!

浄化槽市町村整備 推進事業の廃止について

(平成25年3月31日をもって事業を終了します。)

平成15年度から旧西海町、旧大瀬戸町で事業を開始し、合併後に全市区域の下水道区域外を対象に区域を拡大し、浄化槽市町村整備推進事業（市町村設置型）をおこなってきましたが、平成24年度（平成25年3月31日まで設置）をもちまして事業を廃止し、同時に西海市浄化槽の寄付受納についても廃止をいたします。

【今後の浄化槽整備】

平成25年度からの浄化槽整備につきましては、従来から同時に推進をおこなっています個人設置型浄化槽（浄化槽設置整備事業補助金）により整備をおこないます。

【平成24年度浄化槽事業連絡事項】

< 浄化槽市町村整備推進事業 > 市町村設置型

申請受付期間：平成24年12月28日まで

（予算に限りがあり、早期に受付終了の可能性あり）

※申請後に、随時、設計・入札・設置工事をおこないます。

※設置後、下水道料金を毎月納付。

※ただし、下水道等予定区域については、事業適用になりません。個人設置型の対応になります。

< 西海市浄化槽設置整備事業補助金 > 個人設置型

申請受付期間：平成25年1月31日まで

（予算に限りがあり、早期に受付終了の可能性あり）

※申請受理後に、浄化槽工事に着手していただき、平成25年3月31日までに検査合格したものについて、補助金の交付をおこないます。

※下水道認可区域に指定されている区域については、個人設置型の事業適用になりません。

< 浄化槽寄付受納 >

申請受付期間：平成25年3月22日まで

※受付後、検査をおこない平成25年3月31日までに検査合格した浄化槽に限り寄付受納をおこないます。

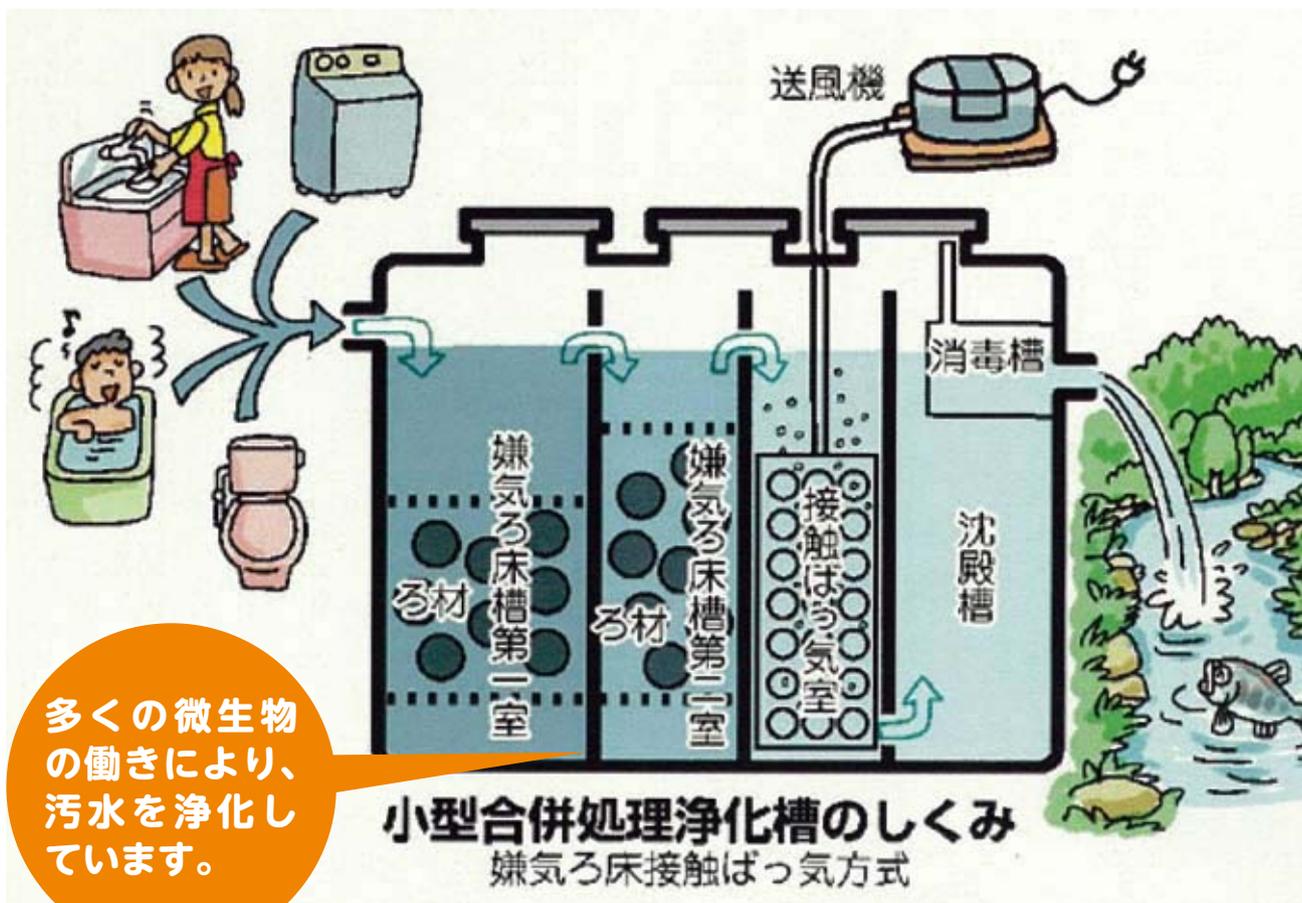
ただし、下水道等予定区域に設置された浄化槽は、対象になりません。

※寄付後、下水道料金を毎月納付。

【現在、市で管理している浄化槽について】

現在、市で管理している浄化槽につきましては、引き続き西海市で管理をおこないます。
(その浄化槽が使用不能になるまで)

また、新築及び増改築、使用不能などの理由により、新たに浄化槽を設置する場合には、個人設置型浄化槽（浄化槽設置整備事業補助金）にて対応をおこない、その後の管理につきましては、個人での管理になります。



* 下水道施設及び合併浄化槽の使用について次の事に気をつけましょう。

- ・ 三角コーナーや排水口に、ろ紙袋をかぶせ調理くずを流さないようにしましょう。
- ・ 天ぷら油等の使用済み油はそのまま流さないで、固めるか、古新聞紙等にしみ込ませるなどして、燃えるゴミとして出すようにしましょう。
- ・ タオルや軍手、下着などは機械に詰まり故障の原因になりますので、絶対に流さないようにしましょう。

問い合わせ先：西海市役所建設水道部下水道課
☎ 37-0073（直通） FAX22-0364



北海道広尾町と西海市とのつながり

北海道広尾町とのつながりは、旧大島町が昭和61年7月、両町の発展につながることを期待し、姉妹町の盟約を交わしたことに始まります。地域活性化の取組や物産交流に加え、小中学生による親善交流少年団の派遣を相互に行い、交流を深めてきました。

平成17年4月の合併により旧大島町は西海市となりましたが、これまで培ってきた広尾町との深いつながりを大切にするため、西海市として継続・発展させていくことになりました。

教育分野の交流

平成18年7月、北海道広尾町で、西海市から市長や議長など、広尾町から町長をはじめ町議会議員などが出席し、西海市と広尾町との間に新しい絆を結ぶ姉妹都市の盟約が結ばれました。

姉妹都市盟約の締結により、北海道と長崎県という日本列島の北と南に位置する二つの市町が、気候や風土、文化、生活の違いや共通点を互いの特色として交流し合うことで、両市町の発展につながることを期待されています。

教育分野では、広尾町の小

西海市と姉妹都市の盟約を結んでいる北海道広尾町を小学生親善交流団（市内の小学4・5年生10名）が1月27日から1月30日までの4日間、訪問しました。

写真と感想文集でまとめられた広尾町訪問の訪問記から、「子どもたちの感想」、「広尾町のびっくり情報」などを紹介します。

学生との交歓や、文化、広大な自然環境、北海道の冬を肌で感じる体験により、両市町の友好と理解が深まるとともに、次代を担うにふさわしい子どもたちの育成を図ることが期待されています。

市の代表として選ばれた小学生親善交流団10名

今回広尾町を訪問した小学生親善交流団は、団員を市内の小学4・5年生から募集。20名の応募者で公開抽選を行い、4年生5名（男子2名・女子3名）、5年生5名（男子3名・女子2名）の10名が選ばれました。

4日間の主な活動内容

広尾町での貴重な体験

1日目

北海道広尾町までは約2000km。西海市を朝7時30分に出発し、福岡空港から飛行機に乗り、羽田空港で乗り換え、帯広空港に15時20分に到着。空港の外は、一面の雪に、マイナス8℃の世界が待っていました。そこから、さらにバスで約1時間30分。真っ直ぐの道がひたすら続く雪原の中を走り、広尾町の青

1月27日（金）	1月28日（土）
<ul style="list-style-type: none"> 出発式 西海市出発【7時30分】 帯広空港着【15時20分】 広尾町着【17時】 オリエンテーション 雪遊び、スケート 入浴、就寝 	<ul style="list-style-type: none"> 歓迎式、対面式（広尾町コミュニティセンター） 町内見学（十勝港→フンベの滝→博物館） 広尾生まれのニュースポーツ体験 クリスマスリース作り 民泊先へ
1月29日（日）	1月30日（月）
<ul style="list-style-type: none"> 帯広氷まつり見学 スノーラフティング 白鳥公園見学 幸福駅見学 民泊先へ 	<ul style="list-style-type: none"> お別れ式 広尾町出発【8時】 帯広空港発【10時15分】 西海市着【17時30分】 到着式、解散

北海道広尾町

広尾町は、北海道十勝管内の最南端に位置し、東は北海道有数の漁業資源を有する太平洋、西は日高山脈の山並みがそびえ立ち、その山系に源を持つ4本の河川が海に注ぎ、豊かな自然を生かした漁業を中心に農林業を基幹産業として発展してきました。

また、首都圏を結ぶ海の最短距離に位置する重要港湾「十勝港」は、十勝の海上輸送の拠点港として今後の発展が期待されています。昭和59年ノルウェーのオスロ市から国外初のサンタランドの認定を受けて以来、「愛と平和、感謝と奉仕」を基本理念としてサンタランドにふさわしい町づくりに取り組んでいます。



こうして楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

4日目

広尾町を去る日。お別れ式では、一人一人が広尾町の思い出を発表しました。そして、夏に「西海」で「再会」することを約束し、広尾町を後にしました。

この夏、今度は広尾町からの小学生親善交流団が西海市を訪れ、さらに交流を深めます。北国の子どもたちに、九州の暑い夏をしつかり感じてもらえる体験が用意される予定です。



まず、雪を利用した遊びを体験。スノーモービルに引かれるゴムボートやバナナボートに乗って、雪の上を走るスノーラフティングを楽しみました。



風を切るスピード感にみんなが興奮しました。隣接する「白鳥公園」では、水辺にたくさん集まっている白鳥や鴨にえさをあげました。最後に、今は廃線となっている「幸福駅」に立ち寄り、それぞれが幸せを願い、幸福の鐘を鳴らしました。



つない青空に、真っ白な雪。そんな景色につつまれた屋外のリンクで、カーリングに似たスポーツを楽しみました。



はじめ、ご来賓の皆様に見つめられる中での緊張の歓迎式。そして、広尾町交流団の子どもたちとわくわくのご対面。練習してきた自己紹介の挨拶は、みんな立派に言うことができました。ホームステイ先のご家族とも対面した後、広尾町の見学に出かけました。湧き水が凍ってできた「フンベの滝」や北国の生き物などが展示されている「博物館」を見学。海上輸送の拠点港である十勝港のスケールの大きさには驚きました。バスの中では、ペアの子と隣席に座り、お互いの住んでいるところのことなどで話が弾んでいたようです。



午後からは、広尾町生まれのニュースポーツ「アイス・ストッカー」を体験。雲ひと

少年研修センターに着いたのは夕方の5時。辺りはすっかり夕闇に包まれていました。広尾町教育長笹原様をはじめ、教育委員会の皆様が無断幕を掲げ出迎えてくれました。

オリエンテーションが終わると、さっそく外に出て雪国体験です。小積んだ雪山からそりで滑ったり、パウダースノーの雪の中にみんなの手をつないで倒れこんだり…。隣接するスケートリンクでは、ナイターでスケート教室が始まるうとじていましたが、その前に、ちょっとお邪魔してリンクを散歩したりしました。



2日目

朝、歓迎式・対面式が行われました。広尾町長村瀬様を

3日目

午前中は「帯広氷まつり」を見学。氷の彫刻がずらりと並ぶ歩道を歩き、メイン会場へ移動。氷で作られた大きな滑り台は、本当につるつるよく滑りました。午後からは、

4日間の思い出

小学生親善交流団10名が、4日間の感想を綴った感想文から、一部をご紹介します。



新井 翔
多以良小学校・4年



井上奈々美
亀岳小学校・4年



川口 萌香
亀岳小学校・4年



中尾 爽里
西彼北小学校・4年



中山 佑真
西海南小学校・4年

この交流の中でもうれしかったのは、広尾町の同じ4年生のゆうきくんと一緒に仲良くなれたことです。一緒に雪合戦をしたり、かまくらをつくったり、同じ部屋で寝たりと、とても楽しく過ごすことができました。遠くに住んでいて、普通なら会うこともなかったはずの友だちが、この交流に参加したことで、すごく仲良くなれたので、本当にうれしかったです。夏には、ゆうきくんたちが長崎に来る予定なので、今からすごく楽しみです。



雪を実際にさわってみると、粉砂糖のようにさらさらしていて、固めようとしても、なかなか固まりませんでした。私はふしぎでたまりませんでした。驚いたことはこれだけではありません。

三つ目は、長崎では見られない北海道の道路です。道は見渡すかぎり真っ直ぐに続き、遠くの方までよく見えます。地図上で見たことがある日高山脈。高い山がどこまでも続き、「自然ってすごいなあ。」と、初めて見る景色に感動するばかりでした。



1日目の夜、生まれて初めてスケートをしました。そりそりと氷の上に立つと、氷の上はとても冷たく、つると滑ったので、体にぐつと力が入りました。みんなでレースをしたり手をつないで一緒に滑ったりして楽しかったです。見たことがないくらい、雪が積もっていたので、思い切って雪の布団に、後ろ向きで倒れこんでみました。すると、「スポッ」と体が雪の布団に埋もれ、何とも言えない気分でした。ふわふわの雪の布団。思わず眠ってしまいました。



私がこの交流で、特に楽しかったことは二つあります。一つ目は、帯広氷まつりです。氷のオブジェは、すごく細かいところまで彫られていて、本物のようでした。また、太陽に照らされてきらきら光り、とてもきれいでした。二つ目は、スノーバナポートに乗ったことです。私の番が来るまでドキドキして待っていました。いざ乗ってみると、風を切るように走り、とても気持ちよく楽しかったです。

今回の交流を通して私が学んだことは、人を思いやる気持ちです。家族と離れて一人で参加し、不安な気持ちでいる私に、広尾町の皆さんがやさしく声を掛けてくださったり、親切にいろいろ教えてくださったりして、私は安心して北海道で生活することができました。



対面式で自己紹介をしました。ぼくは、人前で話すことが苦手です。だから、出発前に何回も作文を書き直したり、家族や学校の友達の前で何回も発表する練習をしました。でも、自己紹介の時には、とても緊張してしまい、大きな声ではっきりと言うことができなかつたので、自分のことを人にわかりやすく伝えることの難しさを実感しました。でも、自分のことや西海市のことを一生懸命話しました。





その日は、研修センターに泊まりました。お風呂に入る前に、ぬらしたタオルを振り回したら本当に凍ったので、僕は、うわさは本当なんだと思いました。広尾町の人たちは、お風呂の後に遊んだら風邪をひくといわれていました。あつひろ君の家は、窓やドアは二重になっていました。ストーブの他に床暖房があり、僕の家より暖かく、薄着で過ごすことができました。



江川 拓弥
亀戸小学校・5年



慣れない場所で最初はドキドキしていたけど、パートナーの子とはすぐに仲良くなっていける。いろいろな事を教えてもらいました。例えば、冬の時期の体育の授業でスケートを習う事や、冬の間は、学校にブーツをはいて登校していいことなどです。みんなのジャンパーのそで口にポケットがついていたので、何を入れるのだろうと思うと聞いてみたら、スキーのリフトの回数券を入れる所だよと教えてくれました。ホームステイ先の子は、海で泳いだことがないと聞いたので、夏に来たときは、ぜひ一緒に家の前の海で泳ぎたいです。



原田 知佳
崎戸小学校・5年



三日目、帯広氷まつりを見学する。長い氷のすべり台を滑った。普通のすべり台よりつるつるいって、楽しかった。回転そりにも乗った。私のパートナーの雅芳(やふあ)ちゃんや他の人と乗った。氷の上をハイスピードで回転するので、風がびゅんびゅん来て、すごく楽しかった。西海市では、決して体験できないことだとつくづく感じた。

この四日間は、私に貴重な体験をさせてくれた。西海市とは違った自然の雄大さ、ホームステイの人たちの優しさ、温かさにつれて、自分もまわりが大きくなったような気がする。八月には、広尾町から来る人に、私を感じたような体験をさせたいと思う。



力武江梨佳
大串小学校・5年



ついに交流の時。たくさん交流団の人たちが名前を呼ばれていく。ぼくの名前だ。人一倍でつかい声で、「おはようございます。」と言った。みんな、驚いているようだ。その中で、パートナーの渡部仁くんは、にっこり笑っていた。ぼくは、ほっとした。なによりうれしかった。

北海道での交流は、ぼくに、人の温かさや自然の豊かさを教えてくれた。遠く離れた人たちの交流を通して、近くでの存在になれる、心を通わすことができた。ぼくにあって、とても価値ある体験だった。八月、広尾の友だちと再会できるのが楽しみだ。



山田 晴叶
大串小学校・5年



ホームステイ先では、最初は、不安だったけど、やさしくしてもらったので安心して眠れました。夕食には、広尾町特産のししやもができました。いつも食べるししやもとは、ぜんぜん味が違いました。とてもおいしかったです。

北海道は、ぼくの住んでいる西海市と違って、屋根の形が雪が降りやすいように斜めになっていたり、信号に雪が積もらないように縦になっていたりしました。暖かい所と寒い所の暮らしは、いろいろな事が違うなと思いました。



吉牟田 駆
西北小学校・5年

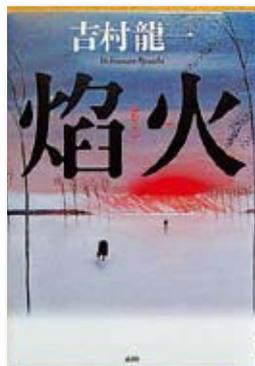


オススの新刊本



親鸞 激動篇 上下
五木 寛之 (西彼)

海がある。山がある。川がある。すべての人々に真実を伝えたい。流罪の地・越後へ向かった親鸞は、異様な集団の動きに巻き込まれるが…。前作『親鸞』の続編。



焰火
吉村 龍一 (西海)

昭和初期、東北の寒村で貧しく暮らす主人公鉄。村八分され、苛め抜かれた鉄は、迫害者たちを殺して逃亡する。流浪の日々の中でいろんな人々と出会い束の間の幸せを得るが――。



傷痕
桜庭 一樹 (大島)

突然この世を去ったスーパースターが残した愛娘をめぐる、大人たちの欲望と思惑が交錯する。最愛の人を失い傷ついた少女の悲しみと回復、そして再生を丹念な筆致で描き出す。



戦国武将の死亡診断書
戦国☆保健委員会 (大瀬戸)

病に倒れた戦国武将を中心に、彼らが抱えていた健康問題にスポットを当て、史料に記録された病状や行動などから、現代医学の観点で臨床記録を作ってみた…。

地区	一般書		児童書	
	題名	著者	題名	著者
西彼	信長私記	花村 萬月	あいうえおみせ	安野 光雅
	文明の子	太田 光	いきるっちゃん	うしじま ひろこ
	相続・遺言・葬儀・墓準備の事典	黒澤 計男	U・ボルト	スポーツ伝説研究会
西海	萌えて学べる!! 思想コレクション		おにのおにぎりや	ちば みなこ
	CUTE&NEET	黒田 研二	絵本を作ろう	
	出雲		そのぬくもりはきえない	岩瀬 成子
大島	スイングアウト・ブラザーズ	石田 衣良	炎路を行く者	上橋 菜穂子
	酒田さ行くさげ	宇江佐 真理	魔界ドールハウス	斉藤 洋
	タニタ式カラダのひみつ	池田 義雄	観察して楽しむ天体入門	沼澤 茂美
崎戸	共喰い	田中 慎弥	鷹のように帆をあげて	まはら 三桃
	七十歳死亡法案、可決	垣谷 美雨	ピーターサンドさんのねこ	ルイス・スロボドキン
	無双の花	葉室 麟	新にんげんはなにでできているの?	ライフサイエンス研究所
大瀬戸	まちがい	辻 仁成	わがままくまさん	ねじめ しょういち
	あんぼん 孫正義伝	佐野 眞一	キツネたちの宮へ	富安 陽子
	身近なモノ事始め事典	三浦 基弘	東京スカイツリーのしくみ	NHK 出版

おはなし会 おたのしみ会

地区	日	時	内容
西彼	4月 7日	午前10時～	絵本の読み語り・工作など
西海	4月 14日	午前10時30分～	絵本の読み語りほか
大島	4月 28日	午前10時30分～	絵本の読み語りほか
大瀬戸	4月 21日	午前10時～	絵本の読み語り・工作など

1枚の利用者カードで西海市内の公立図書館・図書室の本を借りることができます。ぜひ、ご利用下さい。なお、貸出期間は2週間です。借りたら期限内に返却をお願いします。



長崎がんばらんば国体ニュース



長崎がんばらんば国体西海市実行委員会 (西海市教育委員会スポーツ振興課内)
TEL : 0959-37-0076 / FAX : 0959-22-1120

SAIKAI
vol. 9



がんばくん

2014年 10月12日(日)~10月22日(水)
の期間で開催されます☆



らんばちゃん

長崎がんばらんば国体

君の夢 はばたけ今 ながさきから

競技力向上「バレーボール教室」開催!!

3月3日(土)西彼総合体育館で市内の小・中学生を対象とした西海市バレーボール協会主催『バレーボール教室』が開催されました。

当日は、九州文化学園の生徒・監督を講師としてお招きし、子どもたちにバレーボールの実技指導をして頂きました。

はじめの挨拶で九州文化学園の井上博明監督が、なぜバレーボールが楽しいかについて子どもたちに語りかけていました。

本市からもこれまでバレーボールの長崎県選抜やジュニアオリンピックの代表となった選手がいます。このバレーボール教室をきっかけに、西海市から「長崎がんばらんば国体」出場選手に選ばれてくれることを期待しています。



西海市開催競技
(正式競技・デモスポ行事)



新体操(少年女子)
大瀬戸総合体育館



3B体操
西彼総合体育館

お知らせ

大瀬戸総合運動公園体育館は改修工事のため、平成24年7月から11月までの期間使用できなくなりますので、ご理解ご協力の程よろしくお願ひします。

西海市教育委員会 スポーツ振興課 ☎37-0076

3団体・12個人が表彰されました

～平成23年度西海市教育・文化・スポーツ功勞表彰～

2月29日、西海公民館で西海市教育・文化・スポーツ功勞表彰式が行われ、平成23年度にスポーツ、文化の面で特に功績のあつた3団体・12個人に対し、寺本教育委員会委員長が表彰状と記念品を贈りました。

表彰者は次のとおりです。

(敬称略)

〔社会教育功勞表彰〕

(団体)

○伊ノ浦公民館

○大島公民館

多年にわたり地域に根ざした活動を実践し献身的に社会教育の振興と発展に貢献。

〔文化功勞表彰〕

○村岡俊行

多年にわたり文化の継承と発展のため地域に根ざした活動を実践し社会教育の振興と発展に貢献。

〔スポーツ功勞表彰〕

○福岡峰子

○立石靖司

○林田 薫

多年にわたりスポーツ推進

委員として意欲的に活動を実践し、スポーツの普及と推進に貢献。

〔文化顕彰〕

○川口やぐら

第56回長崎県小中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」版画の部教育委員会賞

○谷口晃晴

第57回長崎県小中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」絵画の部教育委員会賞

〔スポーツ顕彰〕

(団体)

○西彼中学校野球部

第3回全日本少年春季軟式野球九州大会優勝



▲表彰式の様子 (写真は西彼中学校野球部)

(個人)

○楠本貴志 (西彼農業高校)

平成23年度全九州高等学校体育大会ウエイトリフティンブ競技第3位

○先村 翼 (大瀬戸中学校)

第38回中学校長崎県ソフトボール大会優勝

第11回全日本中学校男女ソフトボール大会準優勝

○太田愛里 (西海北小学校)

第25回全日本小学生女子ソフトボール大会優勝

○山田圭介

第66回国民体育大会「おいでませ!山口国体」ソフト

ボール成年男子競技準優勝

○平尾 希 (西彼杵高校)

第66回九州陸上選手権大会5000メートル競技準優勝

○諫崎澄英

第11回全国障がい者スポーツ大会「おいでませ!山口国体」卓球競技サウンド・テニス・テニス (STT) の部準優勝



公民館で国際交流・ハングルを学ぼう!!

— 西海公民館・公民館講座 —



▲ハングル文字や発音について指導する朴先生

西海公民館では10月より、公民館講座の一つとして「韓国語講座」を開催しました。

初回となるこの日は受講者10名が参加。講師には韓国出身の朴明玉さんを招き、ハングルでのあいさつの仕方や自己紹介などを含む基礎的な学習に取り組みました。

講座は初心者向けに進められ、受講者たちは日本語の「五十音表」にあたる「ハングル表」を見ながら基本的な発音の確認や、「こんにちは」といった慣用的な会話表現を朴さんの後に続いて繰り返し音読しました。

映画やドラマ等でハングルが身近に感じるようになるなかで、生の韓国語に触れる貴重な機会となりました。聞き慣れない発音やハングル文字に初めは緊張や戸惑いの顔を見せていましたが、朴さんのていねいな指導と親しみやすい口調にすぐに場も和み、楽しく韓国語を学んだようです。

大瀬戸青少年研修所「鍵」の管理場所の変更について

24年4月1日より西海市大瀬戸青少年研修所の「鍵」の管理・保管を西海市大瀬戸コミュニティセンターに変更いたしました。

研修所をご利用される場合は、コミュニティセンターで鍵を受け取りください。

スポーツ安全保険に加入していただけますか？

スポーツ安全保険とは、アマチュアのスポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、指導活動などを行う5名以上の社会教育関係団体で、その構成員の国内事故を対象とした保険です。(ただし、学校管理下の活動中の事故は除く。) スポーツ安全保険に加入していない団体は、加入をご検討ください。

補償内容
傷害保険、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険
掛金 一人800円〜

※平成24年度より掛金が改定されていますのでご注意ください。
保険期間 ※年度更新
平成24年4月1日〜平成25年3月31日

問い合わせ先

(財)スポーツ安全協会長崎県支部

☎095-1845-12926

※平成24年度の申込用紙は、教育委員会スポーツ振興課及び各地区教育担当部に備えています。

スポーツ振興課 ☎37-0076





▲野田教育長へ校旗を返納する林校長(左)

「南中の誇り」胸に 新たな旅立ち

西海南中学校閉校式

▼伝統の「南中ソーラン」

2月18日、西海南中学校で閉校式が開催され、在校生や地域住民、卒業生ら約300名が集まりました。

西海南中学校は昭和55年4月、中学校統合により誕生しましたが、年々生徒数は減少し、今年4月に西海北中学校と統合し、西海中学校となります。閉校までの32年間に計1,477名の卒業生がこの学び舎を巣立っていきました。

式典で、林和憲校長は「様々な思い出が詰まったこの校舎ともお別れとなります。寂しさは言葉に言い尽くせませんが、本校で学んだことを誇りに、新たな目標に向かって頑張ってほしい。」と生徒に激励を贈りました。

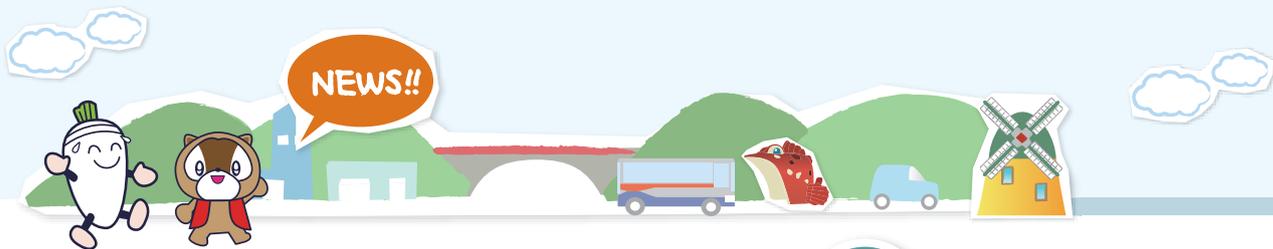
その後、林校長より野田教育長へ校旗が返納され、生徒や出席者全員で校歌を斉唱し、式典を締めくくりました。

式典後は、卒業生らが集まった実行委員会による閉校記念式典が執り行われ、在校生による合唱や地元の太田和、中



浦、七金の3地区による伝統芸能や演舞が披露。また、伝統の「南中ソーラン」が行われ、在校生や卒業生がともに踊りました。





▲準備運動は「がんばらんば体操」



▲いざ出発!

3月4日、大島大橋公園をスタート・ゴールとする第7回さいかいシティーウォークが開催されました。参加者は市内外から200名が参加し、親子連れや友人、愛犬を連れてとさまざま。コースは大島を1周する鍛錬コース(22キロメートル)と百合岳公園往復のファミリーコース(10キロメートル)の2コース。

大島をめぐるウォーキング

第7回さいかいシティーウォーク



▲寺島大橋を下る参加者



▶義援金を手渡す田中市長(上)と樋口更生保護女性会長(下)

2月21日に「第2回西海大鍋まつり実行委員会」と3月7日に「映画「エクレールお菓子放浪記」西海市実行委員会」の2団体が東日本大震災の義援金として、日本赤十字長崎県支部へ届けました。

「第2回西海大鍋まつり実行委員会」は、11月27日に開催された同まつりでの売り上げの一部23万9、763円を会長である田中市長より届けられ、また、映画「エクレールお菓子放浪記」西海市上映実行委員会は1月に上映した3会場での売り上げの一部と会場に設置した義援金箱の合計10万8、887円を同委員会委員の樋口絹子更生保護女性会長より届けられました。

第2回西海市大鍋まつり実行委員会

日赤へ義援金

映画「エクレールお菓子放浪記」西海市上映実行委員会



▲こころほっこり食べ物屋コーナー



▲手作りの箸やスプーン等が作れる木工体験

当日はあいにくの雨に見舞われましたが会場には多くの来場者で賑わい、昔ながらの三輪トラックや子ブタなどと触れ合える「むらざー(村ZOO)」など地域にある生活の知恵や楽しみが盛り込まれたイベントがたくさん。また、「こころほっこり食べ物屋」として多くの店が出店。訪れた来場者は、タイムスリップしたかのような景色の中、ゆったりとした時間を過ごしていました。

このイベントは、市内外から多くの皆さんに子ども連れで気軽に参加してもらい、さいかい元気村の風や空気に触れ、活動を知ってもらおうと同時に西海市の魅力を感じてもらいたいと企画されました。

雨の中のどかなひととき

3月18日、西海町のさいかい元気村で、「ひょうこり元気村」村で「服 田舎の休日」が催されました。



最後の卒業式

西海南中学校と西海北中学校は4月から西海中学校として統合するため、最後の卒業式となりました。



西海南
中学校



西海北
中学校



幼稚園
小学校
中学校
628名

卒園・卒業式

市内の幼稚園、小・中学校で卒園、卒業式が行われ、先生や在校生、思い出の学び舎を後にしました。



▲西海北小学校



▲大島幼稚園



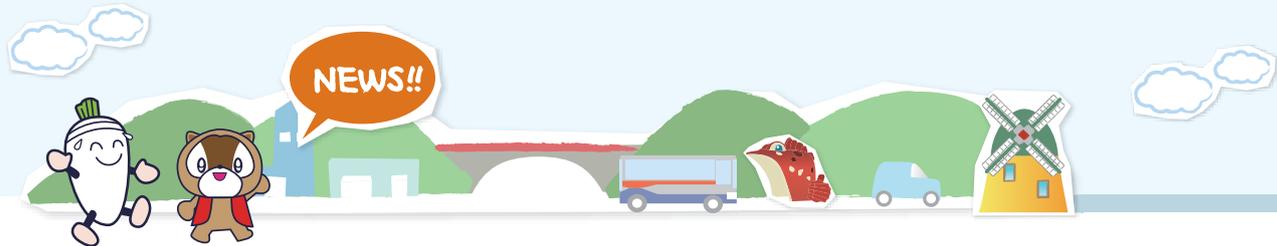
▲亀岳小学校

平成23年度市立学校卒業生数

	学校名	人数	
幼稚園	大島幼稚園	16	
	亀岳小学校	45	
	白似田小学校	17	
	大串小学校	22	
	西彼北小学校	31	
	西海東小学校	41	
	西海北小学校	14	
	西海西小学校	11	
	西海南小学校	10	
	小学校	大島西小学校	14
		大島東小学校	37
		崎戸小学校	11
		平島小学校	1
		多以良小学校	10
		瀬戸小学校	29
		松島小学校	4
		雪浦小学校	6
幸物分校		1	
中学校		西彼中学校	99
	西海北中学校	66	
	西海南中学校	22	
	大島中学校	43	
	崎戸中学校	9	
	平島中学校	2	
	大瀬戸中学校	67	
計	628		



こんなに
大きくなりました。
広報さいかい第14号(平成18年5月号)で紹介した
亀岳小学校の双子3組が
卒業しました。



▲田中市長と高尾怜香さん



幸物分校3年
高尾怜香さん

最優秀賞(知事賞) 受賞

2月17日、ホテルニュー長崎で開催された「第45回長崎県安全推進県民協議会総会」にて、交通安全に関する作文の部小学校低学年の部で雪浦小学校幸物分校3年の高尾怜香さんが最優秀賞(知事賞)を受賞しました。
内容は、お母さんが事故に遭い、事故の恐ろしさや交通安全を認識する作品で、当日の総会で発表されました。

ぜったいにどろどろに合わない 高尾 怜香

西海市立雪浦小学校 幸物分校3年

わたしは学校から帰ってきた時、お母さんはいませんでした。「ピアノのおけいこに行って帰ってきた時も、おかあさんはまだいません。(どうしたのかな。何かあったのかな。)わたしはともしんぱいになりました。おばあちゃんに聞いたら、「お母さんはスパーの前でトラックとぶつかったよ。今、びょういんにいる。」と言いました。わたしはびつくりして、知らないうちになっていました。しばらくして、わたしはお母さんのけいこに電話をしました。どきどきしながら待っていると、お母さんが出ました。

「だいじょうぶだ」「だいじょうぶだ」「だいじょうぶだ」

お母さんの声を聞いたら、ほっとしました。早くおつてほしいな。(よかった。早くおつてほしいな。)

お母さんが家にいないと、しんぱいで、じぶんでどうしたらいいかわかりません。

お父さんたちがぞく全員でびょういんへおみまいに行きました。お母さんはベッドにねていて、うでやこしがいたそうでした。

お母さんの車にぶつけた男の人がおみまいに来ました。よそ見をしていて、ちゅうしゃ場でお母さんの車にぶつかったそうです。男の人は、なぎそうな顔で、何回もあやまっています。

お母さんは三日でたいいんすることになりました。ちゅうしゃ場であまりスピードが出ていなかったのですが、くびやうで、こしがいたくらいです。みました。わたしは、お母さんが早くたいいんすることができたので、とてもうれしかったです。

わたしは、今までにこうつうじこを見たことがあります。黒い車がまわりを良く見えていなくて、白い車にぶつかりました。どーんとものすごい音がしました。かぞくもびつくりして、まわりの方も集まってきました。わたしは、わつ、すごいと思いました。すぐくぶつかったので、五センチメートルぐらい白い車がへこんでいたからです。

(あんなにかたい車がへこむんだから、人間だったら、どうなっていたらう。)

わたしはこうつうじこは本当にこわいなと思いました。車をうんでんしている時、よそ見をしたり、まわりをよく見ていなかったりすると、こうつうじこがおこります。スピードがもつと出ていたら、車はめちゃくちゃにこわれるし、人も大けがをしたり、死んでしまったりするかもしれません。

子どものじこで一番多いのは、どびだしや自転車じこだそうです。子どもは小さいのでかんとんに大けがをしたり、死んだりすると思います。自分のいのちは自分でまもることがたいせつだと学校でべんきょうしました。これから、わたしは、お母さんのじこのことをわすれないで、ぜったいにこうつうじこにあわないようにしたいです。

5月30日は

健康の日

健康づくり課保健班 ☎37-0067
スポーツ振興課 ☎37-0076

5月28日～6月3日は

健康週間です

～健康は、楽しく歩く一歩から～

「健康の里さいかい」をめざし、市民一人ひとりが健康で元気になり、地域を盛り上げていきたいということから「健康の日」「健康週間」に取り組みます。



何をするの？

何かイベントは？

自分や家族のために「健康って」「今の自分は健康かな?」と考えてみたり、「健康のために日頃からやってみたいと思うことを行動に移すきっかけを作る日」です。

- ★ 健康週間中、西彼・大瀬戸体育館のトレーニング室を無料開放します。
- ★ 健康の日は、午後3時にラジオ体操を流します。

〈スポーツ振興課イベント〉

- ★ がんばらば体操を行ってみませんか?指導員を派遣します。
- ★ 健康ウォークを開催予定です。

〈健康づくり課イベント〉

- ★ 出前講座で健康に関する講座を開催します。
- ★ 簡単な健康チェック(血圧や体脂肪、血管年齢、足指力測定など)を行います。希望される団体は、ぜひお問い合わせください!



麻しん風しん予防接種を

受けましょう!

◎麻しんってどんな病気?

麻しん(はしか)は、ウイルスに感染した後、約10～12日間を経て、熱・せき・鼻水などの症状が出はじめます。数日すると、首すじ・顔から赤い発しん(ぶつぶつ)が出はじめ、熱も高熱となり発しんは全身に広がります。38～39℃台の熱は1週間から10日程度続くことがあります。とてもうつりやすく、免疫がないと大人もかかります。

麻しん(はしか)にかかると肺炎や脳炎を引き起こすことがあり、1,000人に1人程度の割合で命を落とすことがあります。さらに、10年ほどしてから「亜急性硬化性全脳炎」という重い脳炎が10万人に1人の割合で発生することが知られています。

◎麻しん(はしか)の予防は?

はしか(麻しん)の予防は、予防接種を受けることです!

平成24年度の麻しん予防接種の対象者は下記のとおりです。早めに接種を受けましょう。

1期・・1歳児のお子さん

2期・・就学前のお子さん(平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ)

3期・・中学1年生(平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれ)

4期・・高校3年生(平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれ)

※平成23年度中に海外への修学旅行等を理由に接種を受けた人は、第4期の対象となりません。

☆2～4期の対象者には4月中に個人通知を行います。

【今月の食育一口メモ】

「魚をおろすことができますか」

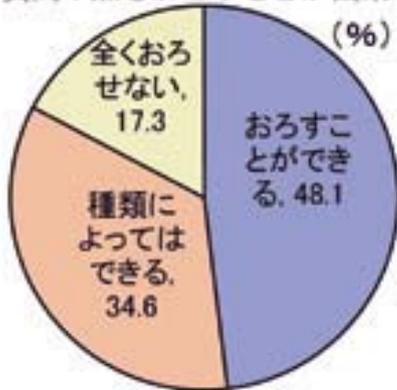
講師にはウギヤル Lie(ライ)さんも

みなさんは、魚をおろせますか？
西海市食育アンケートでは、17.3%の方がまったくおろせないと答えています。

平成23年度に西海市では、長崎県立西彼農業高校の専門部21名の生徒を対象に、平成23年12月から平成24年1月に5回にわたって魚食伝道師育成事業を開催しました。



西海市食育アンケート
(平成20年5月実施)
質問：魚をおろすことができますか？



そのなかには、ウギヤルLie(ライ)さんによる「魚の美容・栄養価について」の講話が行われ、新鮮なイワシを手開きしたり、アジの3枚おろしに挑戦。最終回は握り寿司を握って試食をしました。

西海市の新鮮な魚は生臭さもなく、生徒さんたちも果敢に魚を料理して、おいしく試食することができました。

切り身の魚も良いですが、1尾丸ごと買うほうがとてもお得です。

まったくおろせない方も、一度チャレンジしてみたいはいかがでしょうか？

4月は「未成年者飲酒防止強化月間」です (お酒は二十歳になってから)

お父さん・お母さん
未成年のお子さんに軽い気持ちでお酒をすすめていませんか？

未成年のあなた
アルコール飲料をジュースのように軽い気持ちで飲んでいませんか？

福岡県国税局・税務署

介護保険事業計画・老人福祉計画が答申されました。

西海市介護保険事業計画策定委員会(北島榮委員長)は諮問を受けた「西海市第5期介護保険事業計画及び老人福祉計画」についての検討結果を2月22日に田中市長に答申しました。

今回答申された第5期の事業計画は、高齢者が、可能な限り住み慣れた地域において、その有する能力に応じ自立した生活ができるよう、「介護」、「介護予防」、「医療」、「住まい」並びに「多様な生活支援サービス」や「権利擁護」のための事業などを、高齢者の日常生活の場において一体的に提供していく「地域包括ケアシステム」の体制構築・実現に向けた取り組みを旨としたものとなっています。



募集

臨時職員募集

募集職種 地域対策支援員
勤務場所 市内全域
募集人員 10名
 (本庁・各総合支所に2名ずつ配置)
募集資格 普通自動車免許
業務内容 道路や市有地の草刈・雑木の伐採・動物の死骸処理、野犬の捕獲・その他簡単な大工仕事など

募集期限 5月7日(月)
応募要領 履歴書(写真添付)を財務課又は総合支所市民課に提出

面接日時・場所 後日、郵送にて通知
採用期間 平成24年6月1日～

報酬 月額6、750円
福利厚生 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、年次有給休暇

問い合わせ先 財務課 ☎37-00022

大瀬戸総合運動公園内プール監視員募集

勤務場所 大瀬戸総合運動公園プール
採用人員 若干名
応募資格 満18歳以上の健康な方で救助能力を有し、西海市内に在住し通勤が可能な方

募集締切 5月10日(木)
選考方法 本人面接
面接日時及び場所 決定後、申込者へ通知(採用者には心肺蘇生法の講習を受けていただきます。)

採用期間 平成24年6月1日～10月下旬のうち最長2か月間
※水温・気温により臨時休館日あり(毎週月曜日及び8月13日から15日は休み)

申込方法 スポーツ振興課及び各地区に備え付けてあるプール監視員申込書及び西海市臨時職員登録申請書に必要事項を記入の上、5月10日(木)までにスポーツ振興課又は各地区の教育委員会担当窓口まで提出してください。

賃金 時給840円
※ 交通費相当分として賃金を別

途支給(西海市の規定による)

勤務時間

火～金 午後4時～午後8時
 土、日 午前10時～午後4時
 (正午から1時間休憩)
 祝祭日 午後4時～午後8時
 夏休み期間
 (7月20日～8月31日)
 午前10時～午後4時
 (正午から1時間休憩)
 午後5時～午後8時

問い合わせ先

教育委員会スポーツ振興課
 ☎37-00076



道路維持作業員募集

募集職種 道路維持作業員
勤務場所 市内
募集人員 4名
募集資格 土木作業等実務経験者、普通自動車運転可能な方

勤務内容 市建設課が管理する市道等

施設維持管理業務

募集期限 4月20日(金)

応募要領

履歴書(写真添付)を建設水道部建設課に提出してください。封筒に「道路維持作業員希望」と記載してください。

採用決定

面接試験を実施して決定します。面接日時等については後日申込者あてに連絡します。

採用期間・勤務時間

平成24年5月7日～
 平成25年3月31日
 (週30時間)

報酬

月額135,000円
 (その他については、市の規定に基づき支給します。)

福利厚生

健康保険、厚生年金保険、雇用保険、年次有給休暇、特別休暇(部無給)

問い合わせ先

建設課 ☎37-00020

第20期電話相談ボランティア養成講座受講生募集

募集期間

2月13日(月)～5月26日(土)
 ※当日消印有効

広告欄

身の回りのこと お気軽に ご相談下さい **みなと司法書士法人** 西海事務所 司法書士 中山雄一

- 債務の整理 (任意整理・自己破産・個人再生) 返済がきつい、取り立てがきつい、生活費もままならないなど ⇒解決策はあります。あきらめないで。 ※家計の状況に合わせた返済計画を立て直します。
- 訴訟 裁判所から訴状や支払督促などが届いたら放置せず、必ずご相談ください。
- 訪問販売などの契約に関すること。

- 相続・遺産の分割・遺言に関すること。
- 土地・建物に関すること。
- 不動産の登記 名義変更・抵当権設定・抹消など
- 会社の登記 設立・役員の変更など
- 成年後見等の申立て
- その他 身に覚えのない金銭の請求を受けている、知らない業者から請求書が届いているなど

相談は無料です。秘密は固く守られます。

西海市大瀬戸町瀬戸板浦郷1133 (紫雲山登り口バス停前)

TEL 0959-37-0780

受講資格

・「うちの電話」の趣旨に賛同する22歳から65歳までの男女
 ・前期養成講座、面接審査及び後期養成講座を受講し、電話相談ボランティアとして月2回程度活動できる方
 ・月1回程度の研修に参加できる方

講座期間

前期 6月～8月

後期 9月～平成25年9月

受講費用

前期講座 6千円

後期講座 2万4千円

他に宿泊研修費1万円が別途必要です。

問い合わせ先

長崎「うちの電話」事務局

☎095-843-4410

FAX095-844-3600

T852-8799

日本郵便長崎北支店私書箱45号



軽自動車税の減免申請

障害者手帳をお持ちなど一定の要件に該当する方については、5月24日(木)までに申請することで、軽自動車税の減免が受けられます。

詳しくは税務課又は各総合支所へお尋ねください。

税務課市民税班

☎37-0062

県職員による建築物にかかる受付相談窓口を終了しました

平成24年3月末をもって、毎週水曜日に市役所住宅建築課内に設置してました「県職員による建築物にかかる受付及び相談窓口」が終了しました。

4月以降については、建築基準法に基づく申請等は従来どおり市を経由しますが、詳しい相談は左記事務所にて行なわれることとなります。

場所

県北振興局4階建築課

(佐世保市木場田町3-25)

☎0956-23-1816

FAX 0956-24-4288

問い合わせ先

住宅建築課

☎37-0021

「普通救命講習Ⅰ」を開催

実施日時

4月22日(日)

9時～12時(3時間)

実施場所

広田地区公民館(佐世保市重尾町83)

内容

- (1)心肺蘇生法及び止血法の指導
- (2)異物除去法の指導
- (3)自動体外式除細動器(AED)の取り扱いについて指導
- (4)その他の応急手当法の指導

申込み方法

電話又はFAXで下記の担当署へ申し込みください。

受付期間

4月16日(月)～21日(土)

定員

30名(先着順)

今回の担当署

佐世保市東消防署

☎0956-38-2519

FAX 0956-38-1119

受講対象者

中学生以上の方

受講者全員にテキストを配布し、修了証を交付します。

(受講料は無料)

詳しくは、佐世保市消防局

警防課救急救助係

(☎0956-23-2598)

又は佐世保市ホームページ

(<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>)をご覧ください。

憲法週間行事を実施します

①無料法律相談所

開催日 5月7日(月)

午前10時～12時 午後13時～16時

(受付は15時40分まで)

場所

×ル力つきまち5階会議室

長崎市築町3番18号

☎095-823-9333

相談内容

金銭、土地、建物、労務、夫婦、親子、相続、登記、人権問題など

共催

長崎地方裁判所、長崎家庭裁判所、長崎地方検察庁、長崎地方法務局及び長崎県弁護士会

当日整理券を配布し、番号順に相談を受けます(1人当たり20分程度)。ただし、相談内容によっては、順番が前後する場合があります。

②裁判所見学、公判傍聴等

裁判所見学、公判傍聴、裁判員制度について説明等を希望される方は、FAX又は電話で申し込みください。なお、受付は憲法週間にかかわらず随時行っています。

問い合わせ先

長崎地方裁判所事務局 総務課庶務係

☎095-804-4114

長崎家庭裁判所事務局 総務課庶務係

☎095-804-4144

広告欄

「道の駅」さいかいみかんどーム内において卵・乳製品・(小麦)不使用の体に優しいお菓子や手作り雑貨(布バッグ・編み小物・帽子など)を販売しています。

その他 みかんどームでは、西海元気村「村の菓子工房」の地元果物・野菜を使ったお菓子にふわふわのシフォンケーキ、手作りアイスクリームや特産品、お土産物、「森のくまさん」の頂上たてパンの他県内外のおでかけ情報も充実しており、広々としたスペースもございます。是非一度お立ち寄り下さい。

さいかいみかんどーム 西海市西海町木場町496-1 ☎0959-37-4933 inaho smallkitchen

- 平成24年度政策
- 環境ニュース
- 浄化槽市町村整備推進事業
- 親善交流少年団
- きょういくの広場
- まちの話
- ほげんとぶくし
- くらしの情報
- オランダ村他
- 西海市の魅力
- 市長コラム他



西海市農林振興事業費補助金について

(市独自の補助事業であり、国・県事業についてはJA、市農林課へお尋ねください。)

補助事業名	補助の内容
1 施設園芸育成推進事業	①ハウス施設等の新設 ②既存施設に係る付帯施設(加温機・循環扇・給水施設等)の新設 ③既存ハウスのビニール資材張替え 要件: 農業者であること(③は認定農業者等) ※過去に当事業を活用した同一施設の整備は対象外 補助率: 資材費の1/3 補助限度額: ①50万円以内②20万円以内③5万円以内
2 有害鳥獣被害対策事業	①電気柵・ワイヤーメッシュ柵の購入 (受益戸数2戸以上、1箇所あたりの10a以上農地に限る) 補助率: 1/2以内 ②箱わな購入補助 補助限度額: 1基1万円以内 ③防護ネット購入補助 補助率: 事業費の20%以内 補助限度額: 10万円以内 ④狩猟免許取得に対する補助(講習料、受験料、診断書料) 補助率: 経費の1/2以内
3 遊休農地解消対策事業(放牧)	電気牧柵の購入補助(個人経営に限る) 補助率: 事業費の1/3以内 補助限度額: 5万円以内
4 自給飼料推進事業	飼料種子購入、電気牧柵の設置費用(水田の裏作用) 補助率: 事業費の1/2以内 補助限度額: 5万円以内
5 農業法人設立支援事業	農業法人設立費用を助成 補助限度額: 25万円以内
6 ブルーベリー栽培推進事業	指定された品種(6品種)の購入補助 指定品種: ブルーゴールド・エチョータ・ガルフコースト・ミスティ・ブライトウェル・デライト 補助率: 苗費1/2以内
7 家畜伝染病発生予防対策事業	動力噴霧器等、消毒機器の購入補助 補助率: 2/3 補助限度額: 5万円
8 畜産優良種導入事業	優良繁殖和牛導入: 導入費の10%以内(上限4万円) 市内産業牛導入: 和牛 1万円/頭、F1 5千円/頭 優良和牛素牛導入: 3万円/頭 優良種母猪導入: 1万円/頭

※詳細につきましては農林課(☎37-0070)までお問い合わせください。

環境保全型農業(堆肥購入補助)について

農林課
☎37-0070

対象者 エコファーマー認定農家
もしくは認定農業者に限る
補助要件 市内産堆肥であること
補助率 1/2以内
補助限度額
【バラ堆肥】1トンあたり1,250円
【袋堆肥】1袋あたり100円
※一人当たり10万円を上限

平成24年度より環境保全型農業推進事業(堆肥購入補助)の要件が変わりましたのでご注意ください。
平成23年度までは環境保全型農業の普及を図るため幅広く助成してきましたが、環境保全型農業の普及や、堆肥の流通に一定の効果が得られたと判断し、平成24年度からはより高度な環境保全型農業を目指すエコファーマー認定農家もしくは認定農業者に対し補助を行います。
注意 堆肥購入後の申請は受け付けませんので、必ず堆肥購入前に申請手続きをお願いします。

任意整理・過払金返還請求!

消費者金融等と約10年以上の取引がある方・消費者金融等の借金を完済した方は

西九州総合法律事務所
佐賀県弁護士会所属
弁護士 福田 大志 弁護士 行武 謙一

相談無料

秘密厳守

完済した方は自己負担金ゼロ!

取り戻した過払金の中から20~25%をいただくのみです。

詳しくはお電話、またはブログをご覧ください。

<http://fukuda-hiroshi.seesaa.net/>



要電話予約
0954-27-8056

受付/ (月~金) 9:00~12:00 13:00~18:00
佐賀県武雄市武雄町大字武雄5650-26

広告欄

4月1日から

試験的に時間外の証明発行を行います

西海市では、平日勤務されていて時間内に来庁できない市民の方を対象に、4月1日から、試験的に時間外に開庁し、証明発行及びパスポートの受領事務を行います。

開庁期間 3ヶ月間

(4月1日～6月30日)

開庁箇所 市役所本庁

開庁曜日 毎週水曜日

開庁時間 午後7時30分まで

取り扱う事務

○市民課

・ 戸籍謄抄本等証明書、住民票及び記載事項証明書、印鑑登録及び証明書

・ パスポートの受領(ただし、必ず県証紙・収入印紙を持参すること)

○税務課

・ 所得証明書、納税証明書

なお、今回の時間外開庁は必要性を把握するため、試験的に行うものです。

問い合わせ先

市民課 総務戸籍班

☎37-0164 (内線2811～3)

税務課 市民税班

☎37-0062 (内線2821～3)

投票立会人募集のお知らせ

西海市選挙管理委員会では、選挙に対する関心を高め、延いては投票率の向上及び公明かつ適正な投票環境の整備に資することを目的とし、投票立会人の候補者を一般公募しています。

申込資格

西海市内にお住まいの20歳以上の選挙権のある方

申込方法

選挙管理委員会事務局及び各総合支所(江島・平島出張所を含む)に備え付けの登録申込書に必要事項を記入して提出してください。

申込期限はありません。現在登録されている方及び今後申込される方の登録期限は平成28年3月31日まで有効です(その後は4年毎に更新できます)。

報酬の額

西海市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例に国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律第14条第1項に規定する額と定めます。(この金額より所得税の源泉徴収が行われます)

その他

申込された方につきましては、いったん登録させていただきます。いただいたうえで、選挙があることにご相談をし、選任いたします。(申込者多数の場合は、調整させていただきます)。

その他、ご不明なことがありましたら選挙管理委員会事務局又は各総合支所へお問い合わせください。

西海市選挙管理委員会事務局

☎0959-37-0082

FAX 0959-23-3101

市営駐車場(月極定期)利用者を募集します

募集場所 間瀬第2駐車場
(とれたて市場付近)
西海市大島町1894-74

募集区画 15区画程度
※応募多数の場合は、抽選により決定。

料金 3,150円

供用開始 平成24年5月

問い合わせ先 財務課財産管理班 ☎37-0022
大島総合支所市民課 ☎37-0144



平成24年度の国民年金保険料 月額14,980円です

国民年金からは、老齢基礎年金のほかに、障害基礎年金や遺族基礎年金が支給されます。また、納めた保険料は全額が社会保険料控除の対象となります。

国民年金の保険料は毎年度改定されますが、平成24年度は前年度より40円引き下げられた月額14,980円となります。毎月の保険料は、日本年金機構から毎年4月の月上旬に送られてくる一年分の「納付書」によって翌月の末日までに納めます。なお、保険料は二年を過ぎると納められなくなりますのでご注意ください。

納付の窓口は、金融機関（ゆうちょ銀行を含む）またはコンビニエンスストアとなっております。また、ほとんどの金融機関で口座振替もできます。

問い合わせ先

市 民 課	☎ 37-0164
西彼総合支所市民課	☎ 37-0124
西海総合支所市民課	☎ 37-0134
大島総合支所市民課	☎ 37-0144
崎戸総合支所市民課	☎ 37-0154

5月1日から
5月7日まで

憲法週間です

憲法記念日（5月3日）を中心とした5月1日から7日までを裁判所では憲法週間と定めています。これは、憲法の精神や国民生活における裁判所の役割を国民の皆さんに理解していただくことを目的とするものです。

法務省や検察庁、弁護士会などの協力を得て、全国各地の裁判所では、例年この時期に法廷等見学ツアーや各種説明会などの憲法週間行事を積極的に行っています。

週間行事への参加をきっかけとして、裁判所をより身近に感じ、裁判所や裁判についての理解を深めていただければ幸いです。国民の皆さんの参加をお待ちしていますので、ご興味のある方は最寄りの裁判所の総務課にお問い合わせいただくか、裁判所ウェブサイトをご確認ください。

間もなく、「裁判員制度」が始まってから3年が経過します。裁判所では国民の皆さんにとって裁判がより利用しやすくなりやすいものとなるように、裁判の制度や仕組みについて、幅広い広報活動を行っています。裁判所では、これまでと同様、国民の皆さんにより一層のご理解を得られるよう広報活動を続けて参ります。

裁判例情報、司法統計、見学・傍聴案内をはじめとする各種情報については裁判所ウェブサイト（<http://www.courts.go.jp>）、裁判員制度の詳しい情報については、裁判員制度ウェブサイト（<http://www.saibanin.courts.go.jp>）でそれぞれ紹介しています。

つくも総合法律事務所

長崎県弁護士会所属

吉田 英 樹

- ・過払金返還請求事件等【多重債務問題】
- ・離婚、相続、後見申立等【家事事件】
- ・交通事故等【一般民事】
- ・刑事 ・商事

身近な問題をお気軽にご相談ください

TEL 0956-76-7200

30分 5,250円(消費税込)
(但し、多重債務問題は無料となります。)



〒857-0027
長崎県佐世保市谷郷町3番1号谷郷II4階

広告欄



国民年金付加年金制度のお知らせ

国民年金付加年金制度とは

国民年金の一般保険料に加えて付加保険料（月々400円）を納めると
老齢基礎年金に付加年金が上乘せされます。
付加年金の年金額は、**200円×付加保険料納付月数**となります。

お手続き

届出用紙に必要事項を記入し、市（区）役所、町村役場、または年金事務所にご提出ください。

付加保険料の納め方

付加保険料は申出した月分からお支払いしていただくこととなります

- 月々の保険料を納付書で納める場合
後日送付される付加保険料込みの納付書でお近くの金融機関やコンビニエンスストア等で納めてください。
- 国民年金保険料を前納で納付済みの場合
後日送付される付加保険料の納付書でお近くの金融機関やコンビニエンスストア等で納めてください。
- 月々の保険料を口座振替（クレジット）で納める場合
ご指定の口座から、付加保険料込みの金額が引き落としされます。
ただし、金融機関等への手続きの関係で、申出後1か月から2か月は付加保険料の納付書でお近くの金融機関やコンビニエンスストア等で納めていただく場合もございます。

口座振替による前納はもっとお得です

- 一般保険料と同時に付加保険料もまとめて前払い（前納）すると割引があります

	月々支払	現金支払前納	口座振替前納
6か月分	2,400円	⇒ 2,380円 (△20円)	⇒ 2,370円 (△30円)
1年分	4,800円	⇒ 4,710円 (△90円)	⇒ 4,700円 (△100円)

付加保険料の納める際の留意点

- 付加保険料は当該月の**翌月末（納期限）**までに必ず納めてください。
- 付加保険料を翌月末までに納められなかった場合、当該月から付加保険料を納めることができなくなります。
※再度、付加保険料の納付を希望される場合は、改めて申出が必要となります。
※納付できなくなった付加保険料は払い戻しさせていただきますのでご了承ください。払い戻しの手続きに関しては改めてご案内します。
- 月末が土曜日、日曜日、休日等にあたる場合及び年末の納期限は、翌月最初の金融機関等の営業日となります。



全国瞬時警報

(J-ALERT)が整備されました

J-ALERT (ジーアラート)とは、日本で武力攻撃や気象災害(地震、津波など)が発生すると消防庁の通信衛星を通じて、全国の自治体の防災行政無線を自動的に起動させて、住民へ瞬時に情報伝達を行うシステムです。

西海市の防災行政無線も、緊急時には自動放送により市内一斉放送がされます。例えば、西海市付近(長崎県南西部)で、震度4以上の地震が発生した場合、次のような放送が流れます。

○震度4の地震が発生した場合
(チャイム音)→「こちらは防災西海市役所です。震度4の地震が発生しました。火の始末をして下さい。テレビ・ラジオをつけ、落ち着いて行動してください。」

【3回繰り返し】



【全国瞬時警報システム(J-ALERT)イメージ図】

平成24年度の所得申告はお済みですか?

国民健康保険税の納税義務者である世帯主及びその世帯に属する被保険者(加入者)は、所得割の算定、軽減の判定などのため、所得の申告が必要となります。

なお、所得税や住民税の申告が必要でない方も、軽減の判定や高額医療費の自己負担限度額の判定の対象となる方は、必ず申告してください。

障害年金などの非課税収入があった人
申告が必要でない人
○所得税の確定申告又は住民税の申告をした人
○給与収入(所得)のみの人で、給与支払報告書が会社から市役所へ提出されている人
○公的年金以外の収入(所得)がない場合で、公的年金支払報告書が市役所へ提出されている人

○西海市の国民健康保険に加入している世帯の世帯主及び被保険者で、前年中に収入(所得)があった人
○西海市の国民健康保険に加入している世帯の世帯主及び被保険者で、収入(所得)のない人や、遺族年金、

税務課 ☎37-0062
問い合わせ先
各総合支所市民課
申告先 本庁税務課及び

固定資産税の公共減免について

公益のために直接専用する土地又は家屋は、固定資産税が減免されます。公益のために直接専用する土地、家屋に該当するものとして、公民館、集会所施設及びその敷地などがあります。

減免を受けようとする場合には、減免申請書に、減免を受けようとする事由を証明する書類を添付して、納期限前7日までに本庁税務課へ提出してください。

ただし、賃借料を受領している場合には、減免の対象となりません。

問い合わせ先
税務課資産税班
☎37-0062



市民の皆様の自主的な『まちづくり』を応援します！ ～『さいかい力創造支援事業補助金』のご案内～

産業、福祉、芸術文化・歴史、スポーツ、コミュニティ活動、NPO・ボランティア活動等の様々な分野で、市民の皆様が自主的に取り組む地域づくりに関する企画、研究や、活動の実践を支援します。

○ 補助の対象者	5名以上の団体。但し、代表者及び構成員の過半数が西海市民であることを条件とする。
○ 対象経費	講師等謝金、講師等旅費、周知広報費、会場借料、資料作成費、物品リース料、原材料費、事業の立ち上げ及び拡充に係る備品購入費など
○ 補助金の額	企画研究部門：補助限度額10万円（補助率：対象経費の10/10） 実践活動部門：西海市全域を対象とする事業 補助限度額100万円～60万円（補助率：対象経費の8/10） 西海市内の一定の地域を対象とする事業 補助限度額50万円～30万円（補助率：対象経費の8/10）
○ 申込期限	6月1日（金）まで

〈事業例〉

- ・ 地域への観光客誘致を目的とした、歴史文化資源の活用策等の企画研究
- ・ 市内の名所を図案化した包装紙の制作による地域の情報発信活動
- ・ 郷土史跡パンフレット制作による情報発信、及び各種団体との交流活動
- ・ 市内小中高生とともに取り組む環境美化、生ごみリサイクル、野菜栽培、郷土料理
- ・ 子どもたちが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりへのチャレンジ！
- ・ 海浜公園の景観向上とマリンスポーツを通じた活性化、交流活動
- ・ 地域づくり活動に繋がる歴史的資源の復元

詳しい条件や、
ご応募に関する
お問い合わせは、
まちづくり推進課
(☎37-0064)
まで

「空き家情報バンク制度」 ご存知ですか？

市では、定住対策の一環として、田舎暮らしを希望される方から問い合わせの多い「空き家」の情報提供を受け付けています。将来的にも使わない「空き家」を貸したい、売りたいと思っていましたら、市の「空き家情報バンク」に登録してください。

「空き家情報バンク」に登録されると、ウェブサイトなどで利用希望者に情報を提供できます。

空き家情報の登録希望や、「空き家物件情報」をご覧になって住んでみたい物件がありましたら、まちづくり推進課までご連絡ください。

〈手続きの流れ〉

① 空き家を売りたい、貸したいと思っている所有者の方は「空き家情報バンク登録申込書」をまちづくり推進課に提出。

提出された情報は「空き家情報バンク」に登録されると同時に、西海市ウェブサイトに掲載。

② 登録された「空き家情報」をご覧になって希望条件に合った空き家情報があった場合は、まちづくり推進課までご連絡ください。（ウェブサイトがご覧になれない方へは希望条件に合った情報を書類等で提供させていただきます。）

③ 空き家利用希望者の中から先着順に交渉の意思確認をさせていただき、所有者の方に連絡します。

④ 空き家所有者と利用希望者の当事者間で契約や交渉を行います。

※市が売買・賃貸の仲介を行うわけではありません。あくまでも紹介だけをさせていただきます。

※その後の交渉などについては、所有者と希望者の二者間で行っていただくこととなりますのでご注意ください。

問い合わせ先 まちづくり推進課 (☎37-0064) 西海市ウェブサイト <http://www.city.saikai.nagasaki.jp/>

一般コミュニティ助成事業完成 盆踊り大会の太鼓・やぐらなど購入

一般コミュニティ助成事業を活用し、市内2地区の自治会が、太鼓や盆やぐらなどを購入しました。

事業は、宝くじの収益を財源に地域活動に必要な備品購入などに対し助成を行うことで、地域社会の発展と福祉の向上に役立てるものです。毎年度、対象事業を公募しており、助成の上限は250万円まで。

平成23年度は、次の事業が選ばれ、今年2月に完成しました。

柳 郷
購入品：太鼓、太鼓台、盆やぐら、音響機器、紅白幕、テーブル、イスなど
事業費：約233万円、助成額：230万円

福島郷会
購入品：太鼓、太鼓台、盆やぐら、音響機器、紅白幕、テーブル、イス、テントなど
事業費：約243万円、助成額：240万円



←福島郷会



←柳郷

平成24年度

西海市奨学資金貸付制度のご案内

募集期間

平成25年1月31日まで

資格

西海市に住所がある人の子弟で、高等学校（国立高等専門学校含む）又は、大学に在学する人のうち、経済的理由により就学が困難で、人物、学業ともに優れている者。

※他公私団体（の奨学金制度）との併願は認めません。ただし、併給はいたしません。基本的に、日本学生支援機構及び長崎県育英会の奨学資金を申請し採用されなかった方、若しくは、上記の奨学資金制度に該当しない方を対象とします。

貸与月額

大学(短期大学含)	私立高等学校		国立高等学校及び専門学校
	私立	国公立	
	35、000円	25、000円	20、000円

貸与期間

正規の最長就学期間内において貸付けを行います。

申請に必要な書類

- ・西海市奨学資金貸付申請書（様式第1号）
- ※保証人が2名必要です。
- ・西海市奨学資金貸付申請者調査書(様式第2号)
- ・所得証明書(世帯員の収入のある者すべての分)
- ・在学証明書(進学予定者については合格通知書等)
- ・出身中学校長（又は高等学校長）の卒業成績証明書

貸付けの選考

貸付けの決定は申請書等の資料を基に、選考委員会の選考に基づいて決定します。

償還方法

最終学校卒業後6か月を経過した日から、資金の貸与を受けた在学期間の2倍に相当する期間内に毎月返還を行っていただきます。利息は無利子で元金の償還となります。

申し込み先

父母または、これに代わる人が西海市教育委員会に申し込み、申請用紙の交付を受け、必要書類を作成のうえ、提出してください。不明な点は西海市教育委員会 教育総務課までご連絡ください。

☎ 0959-37-0077
FAX 0959-32-1113

オランダ村

いらっしやいませコーナー

オランダ村に自然

エネルギーを供給

50kw太陽光パネルを設置

3月30日、西彼農村環境改善センターへの通路法面に太陽光発電設備を設置しました。

この設備はオランダ村の受電設備に接続して、発電された電気は、西彼総合支所や風車の電力を一部まかっています。また、休日などで消費電力が少なく、発電量が上回る場合は電力会社を買取ります。



→情報発信拠点に新たな戦力。商工会事務所が完成しました。



この事業は昨年、西海市が県の「環境実践モデル都市」に選定され、モデル都市にふさわしい事業として費用の補助を受けて実施したものです。この補助金により、太陽光発電設備のほか、オランダ村駐車場の外灯、西彼農村環境改善センター及び西彼総合体育館の照明器具の一部をLED（発光ダイオード）に切替え、省エネによって二酸化炭素の排出量を年間に約4t削減する効果があると試算しています。



4月の **健康** **テレホンサービス**

☎0120-555-203
 ☎長崎 095-826-5511
 ☎佐世保 0956-23-4300

曜日	4月のテーマ
月	不整脈の治療（アブレーション）
火	新しい心肺蘇生法
水	出血しやすくなる病気 “血友病”
木	爪の病気
金	歯科の訪問診療－なぜ入れ歯を入れるの？
土・日	不妊治療

* 祝日は、前日のテープが流れます。

西海市の人口の動き

	平成24年 2月29日現在	前月比	前年比	各町別					2月中	
				西彼	西海	大島	崎戸	大瀬戸	転入	転出
人口	31,122	-19	-474	9,045	8,223	5,282	1,777	6,795	44	57
男	14,986	-6	-237	4,350	3,908	2,595	832	3,301	20	20
女	16,136	-13	-237	4,695	4,315	2,687	945	3,494	20	30
世帯数	12,545	-12	-1	3,162	2,929	2,605	965	2,884		

西海市の魅力

歴史

食

自然

第一回
日本と西洋をつないだ
西海の歴史
〜横瀬浦開港四五〇年〜

西海市の豊かな地域資源「自然、食、歴史・文化」について、一年間にわたり、市民の皆様にご紹介してまいります。

第一回目は、今年開港四五〇年を迎える横瀬浦港の歴史です。

一、南蛮船の平戸寄港

戦国時代の末期、歴史上はじめて日本人と西洋人との出会いがありました。その相手は当時南蛮人と呼ばれたポルトガル人でした。最初に南蛮貿易の舞台となっていた平戸では、領主松浦隆信がキリスト教布教を嫌ったため、イエズス会布教長トルレス神父は平戸に代わる良港を探すよう宣教師アルメイダに命じました。アルメイダは密かに測量を行い、白羽の矢を立てたのが、西彼杵半島の北端にある大村領の横瀬浦でした。

二、横瀬浦の開港と繁栄

一五六二年（永禄五）七月、ポルトガル船が横瀬浦に来航、領主大村純忠はこの来航を大いに歓迎し、横瀬浦の周囲約十キロを教会領とすることやポルトガル商人たちの税金を免除するなど有利な条件を与えました。豊後、平戸、博多、山口、京都などから多くのキリスト教徒が集まって上町・下町の集落が形成され、教会（現横瀬浦公園天主堂跡）ではクリスマスや復活祭などが盛大に催されました。港の入口にある八ノ子島には十字架が建てられ、横瀬浦は「御助けの聖母の港」と呼ばれました。



▲今でも十字架がそびえたつ八の子島

三、純忠の受洗、フロイス来日

大村館（現横瀬保育所）に住んだ領主純忠は、キリスト教に興味と理解を示し、一五六三年（永禄六）五月、トルレス神父により、家臣とともに洗礼（霊名ドン・バルトロメオ）を受けます。日本人最初のキリシタン大名の誕生です。同年六月、二度目のポルトガル船が入港、この時、ポルトガル人司祭ルイス・フロイスが横瀬浦に上陸。亡くなるまで三十四年間日本に滞在したフロイスは、日本各地におけるキリスト教布教の歴史を「日本史」として綴りました。

四、横瀬浦炎上

しかし、純忠による急速な領内のキリスト教化は、仏僧らや家臣内の反発を招きました。大村純前庶子で武雄後藤家の養子となった後藤實明の世継ぎ問題とも絡み、一五六三年（永禄六）八月、一家臣団が企てた反乱が起こります。この反乱によって横瀬浦と大村は大混乱に陥り、やがて異教徒である豊後の商人たちが

積荷を奪うために放った火によって、一時繁栄した横瀬浦の町はたちまち灰燼と化したのでした。その危機の中、純忠や宣教師たちは、あやうく難を逃れることが出来ました。

五、長崎開港と横瀬浦の意義

その後、南蛮貿易の拠点、福田浦に移されましたが、外海である福田浦は条件が良好でなく、より安全な貿易港として採り当てられたのが、一五七〇年（元亀元）、開港した長崎の港だったのです。当時の長崎は、現在の県庁付近を先端とする半島でした。当初、この岬の台地に六つの町割がなされ、その一つに横瀬浦町がありました。

横瀬浦開港は、長崎開港の先駆けとなった歴史的に重要な出来事でした。現在の横瀬地区には、長崎と同じ「思案橋」「丸山」の地名が残されています。また、横瀬浦は日本におけるキリシタン文化発祥の地であるといえます。

市長の あんなこと こんなこと



皆さん、こんにちは 市長の田中です。早速ですが、この冬、冷温被害により長崎県のブランドでもある「ヒワ」が壊滅的な打撃を受けたとの情報が入りました。そこで、栽培農家を多く抱える西海市でも緊急調査を実施したところ、一部の農家を除き、甚大な被害はないことが判りました。農家の皆さん

も、おそらく胸をホツとまで下ろしておられる事でしょうし、農作業にも一層の力が入るものと思っています。

さて、4月は何と言っても桜を題材にしなければなりません。第3回を迎えた松島桜坂まつりは、3月24日、25日に開催されました。桜のトンネルを登る坂道も、今が見ごろでしょう。松島火力発電所にかつて仕事で来たことがある歌手の福山雅治さんの名曲「桜坂」と結び付けたくなるのは私だけではないと思います。松島を拠点に捕鯨で巨万の富を築いた深沢与五郎も史実として有名ですが、西暦1、600年以前から始まっていた松島での石炭採掘にとって、全盛期を迎える基礎固めとなつた松島炭鉱株式会社創業から、歴史的な100周年の節目を迎えます。

こうした松島のほか崎戸、大島に残っている炭鉱遺構をいかに保存し後世に継承していくか、調査費などを今年度に予算化しているところです。

松島には釜浦港に着くとラフダ島が迎えてくれます。徳川幕府末期には、桂小五郎をはじめとする幕末の志士たちが、幕府のきびしい目を逃れ密会をしていたとされる三国屋旅館も、屋形こそ残っていませんが、敷石が当時のたたずまいをしのばせてくれます。西彼町郷土史によると、大村藩勤皇三十七士であつた渡辺昇、楠本正隆、稲田又左衛門、樋口新次郎(長岡重弘らと、坂

本電馬、桂小五郎と一緒に納まっている写真が、西彼町風早郷樋口家に所蔵されていて、大きな歴史のつねりの中に西海市も関わっていたことが裏付けられています。となると、三国屋で志士たちが密会していたことは、容易に想像できるのではないのでしょうか。

このように桜坂まつりをキーワードに、松島の隠れた魅力とロマンを感じられ、松島にある日本一小さな公園が逆に大きく見えるほど、島の歴史的資源がとても豊富に感じられます。

松島には30年前、世界で最新の環境対策を講じた外国炭専燃火力発電所が建設されて、今なお100万キロワットの電力を九州、中国、四国地方に供給しています。原子力発電所の事故以来、それに替わる電力供給が求められ、にわかに石炭、天然ガスの火力発電所がクローズアップされて来ました。この機を逃さず、増設を強く要望してゆく決意ですが、これに伴い、松島架橋が現実のものとして達成できるよう、市民一丸となって機運を盛り上げていきたいと思います。

さあ、春真つ盛り。スタートの季節となりました。市内の各学校の校庭には桜が満開に咲きほこり、新入生を迎えての新学期がいよいよ始まります。子供たちの元気な声がかこだまする校庭からは活気がみなぎり、西海市がめざす健康の里さかいの原点を垣間みる気がいたします。

田中隆一

編集後記

広報担当となつて4年目に突入しました。今年度もぬりかべのような私が各イベントに現れると思いますが、できるだけ邪魔にならないよう取材しますのでよろしくお願ひします。

私は、担当になる前からイラスト等の資料のためカメラを趣味としています。シチュエーションにこだわらず何気に撮っていました。しかし、最近では目が肥えだしたのか、ちよつとしたブレや写真構成が気になってしかたありません。

「せつとアップで撮るとけばよかつた」「あいたー、ブレとるー」など、小言や愚痴が増えだした今日この頃です。

(り)



横瀬浦開港
450周年



第1回

YOKOSE450



■横瀬浦とルイス・フロイス



ルイス・フロイス (1532~1597)

フロイスは、16歳の時イエズス会に入会しました。同年インドで、フランシスコ・ザビエルと出会います。

15年後の1563年7月6日、フロイスは横瀬浦に上陸しました。彼は当時31歳でした。1年間この地で日本語を習い、布教のために京都に向かいます。

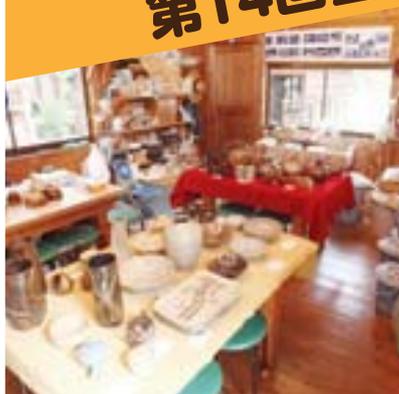
1569年、京に入った織田信長に二条城の建築現場で対面し、その後信任を得て布教の許可を得ます。ですが、後に豊臣秀吉が出した「バテレン追放令」を受けて長崎に戻ります。一時マカオに渡りますが再び長崎に戻りました。

1957年、65歳で亡くなるまで多くの著作を残し、中でも「日本史」は日本史の貴重な記録だと言われています。

きてみんなね!

~スローライフの雪浦~

第14回雪浦ウィーク



とき 5月1日(火)~4日(金)
ところ 大瀬戸町雪浦地区

自然豊かな大瀬戸町雪浦地区。

そこでの暮らし、さまざまな産物の生産、創作、趣味の場を年1回開放して、人と人がふれあいながら楽しめる催し物です。

地図を片手に好きな場所を訪ねてみてください。



4
2012
No.084

■編集・発行

西海市役所総務部 総務課 秘書広報班

西海市大瀬戸町瀬戸雪浦郷2222番地

☎0959-37-0061(総務課) ☎0959-37-0011(代表) FAX.0959-23-3101

✉E-mailアドレス info@city.saikai.lg.jp

☎HPアドレス http://www.city.saikai.nagasaki.jp/



この「広報さいかい」は、環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOC大豆油インキを使用しています。

くらしの カレンダー

[2012年4月15日～2012年5月31日]

4月		※各教室講座については、各担当部署にお問い合わせください。 ※大瀬戸コミセン:大瀬戸コミュニティセンター	健康相談	母子健康手帳交付	すくすく相談	子ども予防接種	救急医療在宅番医	あなたの予定
イベント								
15	日							
16	月	■行政人権相談 (西彼保健福祉センター・10時～15時)						
17	火					●		
18	水							
19	木					●		
20	金			●				
21	土							
22	日							
23	月		●			●		
24	火	■障がい者就労相談 (福祉事務所1階会議室・13時～15時)	●	●		●		
25	水	■人権相談(大瀬戸コミセン・10時～15時)	●			●		
26	木		●		●			
27	金		●					
28	土							
29	日	昭和の日						
30	月	振替休日						

健康相談(4・5月)

日程	曜日	場所	受付時間
4月23日・5月28日	月	西彼保健福祉センター	9:30～11:00
4月25日・5月30日	水	西海保健センター	
4月26日・5月31日	木	大島保健センター	
4月24日・5月29日	火	崎戸中央公民館	
4月27日・5月25日	金	大瀬戸保健センター	

※身体や心の健康に関することなどご相談ください。
保健師などによる個別相談を行います。

母子健康手帳交付日程

※母子健康手帳交付には印鑑が必要です。

日程	曜日	場所	受付時間
4月20日	金	大瀬戸保健センター	13:30～16:00
4月24日	火	西彼保健福祉センター	
5月1日	火	西海保健センター	
5月10日	木	大島保健センター	
5月18日	金	大瀬戸保健センター	
5月22日	火	西彼保健福祉センター	

すくすく相談

臨床心理士による子育てに関する相談を受付けています。

日程	曜日	場所	受付時間	予約締切
4月26日	木	西海保健センター	10:00～12:00	4月18日(水)

乳幼児相談、乳幼児健康診査等の日程については、「平成23年度 西海市母子健康カレンダー」に掲載しています。母子健康カレンダーは、母子保健事業実施時や各総合支所でも配布しています。また、西海市ウェブサイトにも掲載しています。

子どもの予防接種

平成24年度の麻しん・風しん予防接種の対象は下記のようになっています。第2期、3期、4期の方には4月中に個人通知を行います。
第1期:生後12か月以上24か月未満
第2期:平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの方
第3期:平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの方
第4期:平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれの方
(ただし、平成23年度中に接種を受けた第4期の年齢の方は対象となりません)

日程	曜日	種別	場所	受付時間
4月17日	火	BCG	西彼保健福祉センター	13:15～13:30
4月19日	木	ポリオ	池田医院	13:30～14:00
			金森医院	14:45～15:15
4月23日	月	ポリオ	大島保健センター	13:00～13:30
4月24日	火	ポリオ	大瀬戸保健センター	13:00～13:30
4月25日	水	ポリオ	西彼保健福祉センター	13:00～13:30
5月7日	月	BCG	大島保健センター	13:15～13:30
5月15日	火	三種混合	西彼保健福祉センター	13:00～13:30
5月17日	木	三種混合	西海医療福祉センター(大島)	13:30～14:00
5月22日	火	三種混合	大瀬戸保健センター	13:00～13:30
5月29日	火	三種混合	池田医院	13:30～13:45
			金森医院	14:30～14:45

※西海医療福祉センター(大島)と西海地区の受付時間が今年度から変更になっています。ご注意ください。

広報誌から抜き取ってご利用ください

5月

イベント



あなたの予定

日	曜日	イベント	健康相談	母子健康手帳交付	すくすく相談	子ども予防接種	救急医療在宅当番医
1	火			●			
2	水						
3	木	憲法記念日					●
4	金	みどりの日					●
5	土	こどもの日					●
6	日						●
7	月					●	
8	火	■障がい者就労相談(福祉事務所1階会議室・13時~15時) ■暮らしとこころの相談会(ハローワーク長崎西海出張所・13時~16時)					
9	水	■行政相談(大瀬戸コミセン・10時~15時)					
10	木	■年金相談【予約制】(大島総合支所・11時~15時)		●			
11	金	■人権・行政相談(崎戸社会福祉センター・10時~15時)					
12	土						
13	日	■市内小学校運動会・中学校体育大会(西海町内4小学校、崎戸小・中・江島小合同、西彼中、大島中、大瀬戸中)					●
14	月	■行政相談(大島社会福祉センター・10時~14時)					
15	火					●	
16	水	■人権行政相談(西彼保健福祉センター・10時~15時)					
17	木					●	
18	金			●			
19	土						
20	日						●
21	月						
22	火	■障がい者就労相談(福祉事務所1階会議室・13時~15時)		●		●	
23	水						
24	木						
25	金		●				
26	土						
27	日	■西海市市中総体(球技・武道)					●
28	月		●				
29	火		●			●	
30	水		●				
31	木		●				

※専門外に対しては診療ができない場合があります。※当番医は変更になることがあります。※ご利用の際は、当番医に電話で確認してください。

救急医療 在宅当番医	5月3日(木・祝)	5月4日(金・祝)	5月5日(土・祝)	5月6日(日)	5月13日(日)	5月20日(日)	5月27日(日)
 救急医療 在宅当番医 西彼杵医師会 ☎095-882-5268	真珠園療養所(西彼) ☎28-0038	金森医院(西海) ☎32-0006	東内科医院(西彼) ☎27-0127	田中医院(西海) ☎32-0033	田中クリニック(西彼) ☎27-0035	たいら医院(西海) ☎32-2011	小武医院(西海) ☎32-2121
	須山医院(大島) ☎34-2123	浦口医院(大瀬戸) ☎22-0015	中村医院(大瀬戸) ☎22-0012	山崎医院(崎戸) ☎35-3337	池田医院(西海) ☎33-2021	雪浦診療所(大瀬戸) ☎37-0150 松島診療所(大瀬戸) ☎22-0271	わたなべクリニック(大瀬戸) ☎23-3002

広報誌から抜き取ってご利用ください

よくある質問



すでに中心となる経営体がある地域でも、話し合いが必要ですか。

5年後、10年後も「人と農地の問題」が生じないと考えられる地域では不要です。
ただ、新規就農者を位置付けた「人・農地プラン」を作ることで、青年就農給付金等のメリットを受けられることもあります。

地域の中に中心となる経営体が見当たらないときはどうしたらいいでしょうか。

新たに集落営農を立ち上げるのも一つの方法です。
また、他の地域の農業法人等や新規就農者を「人・農地プラン」に位置づけることもできますので、幅広くご検討下さい。

話し合いの結果、集落営農組織をつくることになりましたが、今まで別の経営体に貸していた農地を返してもらってもよいでしょうか。

将来にわたってやっていく意欲と能力のある経営体がある場合に、集落営農組織を作ることでその経営体の発展を妨げることは好ましくありません。

青年就農給付金、農地集積協力金等の詳しい給付要件を教えてください。

このパンフレットに記載している内容について、さらに詳細な情報を農林水産省のホームページに掲載しています。また、下記の相談窓口でもご案内しています。

お問い合わせ先



西海市産業振興部
農林課

☎37-0070



※これらの事業は、平成24年度予算の成立が前提であり、かつ、今後、内容に変更があり得ることをあらかじめご了承ください。

農林水産省HPアドレス(各地域の「人と農地の問題」を解決しましょう!)

http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

農地集積への支援

※交付要件（遊休農地の解消計画の作成や、主要な農業用機械の廃棄処分など）や、返還措置などの規定がありますので、必ず関係機関にご相談ください。

「人と農地の問題」の解決に向けて、農地の集積を進めようとする皆さんを支援します。

(1) 出し手に対する支援(農地集積協力金)

農地を出すこと(利用権設定又は農作業委託)への踏み切りを支援します。

① 経営転換協力金

[貸付等を行う面積]	[交付単価] (※3)
0.5ha以下	: 30万円/戸
0.5ha超2.0ha以下	: 50万円/戸
2.0ha超	: 70万円/戸

※3:市町村への交付単価です。

[交付対象者]

土地利用型農業からの経営転換などをきっかけに「人・農地プラン」に位置づけられる中心経営体への農地集積に協力していただく

- ① 土地利用型農業から経営転換する農業者
- ② リタイアする農業者
- ③ 農地の相続人

② 分散錯圃解消協力金

[交付単価] (※3)
5千円/10a

[交付対象者]

「人・農地プラン」に位置づけられた中心経営体の農地の連坦化に協力していただく

- ① 中心経営体の経営耕地に隣接する農地の所有者
- ② 中心経営体の経営耕地に隣接する農地を借りて耕作していた農業者

▶ 交付対象者は、農業者戸別所得補償制度の加入者である必要があります。

▶ 交付対象者は、農地利用集積円滑化団体又は農地保有合理化法人へ10年以上の白紙委任をする必要があります。

(2) 受け手に対する支援(規模拡大加算)

安定した土地利用の確保を支援します。

(「人・農地プラン」に位置づけられていない方も対象となります。)

規模拡大加算

[交付単価]
2万円/10a

[交付対象者]

農地利用集積円滑化事業により、面的集積して経営規模を拡大する農家

【面的集積要件の見直し】

「人・農地プラン」において中心経営体への農地の集積範囲が定められた場合には、規模拡大加算の面的集積要件を大幅に緩和します。

▶ 農地法に基づく遊休農地対策について

上記の支援策と併せて、農業委員会は、遊休農地解消のための法制度を確実に実施(地域の中心となる経営体に貸し付けて、農地を集積する方向に誘導)

農地利用
状況の調査



遊休農地所有者等
に対する農地の利用増進
のための指導

指導に従わない場合には、
遊休農地所有者等への通知、勧告、買入協議、都道府
県知事による調停、特定利用権の設定等の手続へ移行

新規就農者への支援

※給付の要件(自ら農地の所有権もしくは利用権を有していることなど)や、給付停止要件、返還措置などの規定がありますので、必ず関係機関にご相談ください。

「人と農地の問題」の解決に向けて、農業を始めたい方や新たに人を雇いたいと考えている皆さんを支援します。

自ら独立して農業を開始する方

青年就農給付金(経営開始型)

農業を始めて間もない時期に給付金を給付します。

**[給付額] 150万円/年
(最長5年間)**

農業を始めてから経営が安定するまでの方で、以下の要件を全て満たす方(※1,2)

- ①原則として45歳未満で独立・自営就農する方
- ②就農する市町村の「人・農地プラン」に位置づけられている方(見込みも可)
- ③就農後の所得(本給付金以外)が250万円未満の方

※1:農家子弟の方でも、
ア 親とは別の経営をする場合
イ 親の経営から部門を独立させる場合
ウ 親元に就農してから5年以内に親から経営を継承する場合は給付対象となります。
※2:青年就農給付金(準備型)の受給を要件とはしていません。

農業法人等へ就職する方

農の雇用事業

(農業法人等への支援)
農業法人等が新規就農者を雇用して、栽培技術や経営ノウハウなどの研修を実施する場合に、研修に要する経費を助成します。

**[助成額] 最大120万円/年/人
(最長2年間)**

※「人・農地プラン」に位置づけられていない方も対象となります。



青年就農給付金(準備型)

農業技術の研修中に給付金を給付します。

[給付額] 150万円/年(最長2年間)

道府県農業大学校や都道府県が指定する先進農家・先進農業法人等で研修を受ける方で、以下の要件を全て満たす方

- ①原則として就農予定時の年齢が45歳未満の方
- ②都道府県が認める研修機関等で概ね1年以上研修する方
- ③研修終了後1年以内に就農する方
- ④自ら農業経営又は農業法人に雇用されて就農する方

※「人・農地プラン」に位置づけられている必要はありません。

皆さんの地域の「人と農地の問題」 について考えてみませんか (人・農地プラン／新規就農／農地集積)

高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」があり、5年後、10年後の展望が描けない地域が増えています。

皆さんの地域ではいかがでしょうか？

地域の皆さんで話し合っってプランを作り、実行していくことによって「人と農地の問題」を解決しましょう。

プランの作成や就農者の増加、農地の集積を応援します。



1 人・農地プランは、人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」です。

☆集落・地域における話し合いによって、

- ◎今後の中心となる経営体(個人、法人、集落営農)はどこか
- ◎中心となる経営体へどうやって農地を集めるか
- ◎中心となる経営体とそれ以外の農業者(兼業農家、自給的農家)を含めた地域農業のあり方(生産品目、経営の複合化、6次産業化)

などを決めていただきます。



〈集落における話し合いにあたって〉

- 人・農地プランの範囲は、地域的なまとまりを持つ農業集落や地域をエリアとすることを基本としますが、地域の実情に応じて複数集落やもっと広いエリアでも可能です。
- 地域の将来に関する話し合いですので、経営主だけでなく奥さんや息子さんも積極的に参加して下さい。

2 人・農地プランには、様々なメリットがあります。

☆人・農地プランに位置付けられると、

- ◎青年就農給付金(経営開始型)
 - ※準備型(研修中)は、人・農地プランと関係なく給付します
- ◎農地集積協力金(中心となる経営体に農地を提供する方)
- ◎スーパーL資金の当初5年間無利子化(認定農業者)

といった支援を受けることができます。

〈市町村による検討会の開催〉

- 市町村は、話し合いを受けて人・農地プランの原案を作成し、農業関係機関や農業者の代表で構成する検討会を開催します。
- ※検討会のメンバーの概ね3割は女性
- 検討会の審査の結果適当と判断されたものは、市町村が人・農地プランとして正式決定します。

3 人・農地プランは、随時、見直すことができます。

☆最初からパーフェクトなプランにする必要はありません。必要な部分から始めて、順次拡大していくことで構いません。一旦プランを決めても、

- ◎新規就農者が新たに出てきたとき
- ◎集落営農・法人を立ち上げ、中心となる経営体となるとき
- ◎引退を決意して農地集積協力金をもらおうとするとき

などは、見直せば、2のメリットを受けられます。



農林水産省

広報誌から抜き取ってご利用ください